



国立大学法人 弘前大学概要

平成25年度





弘前大学長
佐藤 敬

世界に発信し、 地域と共に創造する 弘前大学

理 念

弘前大学は、教育基本法 の精神にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成を目的とする。

目 標

弘前大学は、学問の領域を幅広くカバーする人文学部、教育学部、医学部、理工学部及び農学生命科学部の5学部と、独立研究科である大学院地域社会研究科を含む7研究科より成る中規模総合大学である。本学は、この特徴と、本学が立地している青森県 の特性、すなわち、エネルギーに関わる豊富なポテンシャルや原子力施設及び核融合関連施設、地球温暖化・環境に関わる世界自然遺産白神山地、食糧危機・食の安全に関わる食糧基地等を有するこれらの特性を、本学 の教育、研究及び社会貢献の中心課題として、世界と地域に対し、人材の育成と情報の発信を行うことをその目標とする。

教育目標

弘前大学は、国内外の各領域でのリーダーとなり得る高度専門職業人の育成に努める。特に人間性及び社会性を身につけるための教養教育と、社会の変化に対応できる能力を身につけるための専門基礎とに重点を置いた教育を、コア・カリキュラムとして設定し実施する。この中で、文系・理系共に、地域の特性としてのエネルギー、環境及び食に関する教育を行う。

研究目標

世界の今日的課題であり、かつ地域の特性であるエネルギー、地球温暖化・環境及び食に関わる諸課題を中心とし、国際的レベルの研究、先見性ある基礎的研究及び地域の活性化を推進する研究を展開する。

社会貢献

被ばく医療を含む地域医療、小・中・高生理科離れ対策事業、地域文化の継承・発展事業、及びコラボ弘大(産学官連携拠点)を中心とした社会連携事業を展開し、人口過疎化及び少子・高齢化が進み、かつ産業基盤の脆弱な地域の活性化に寄与する。

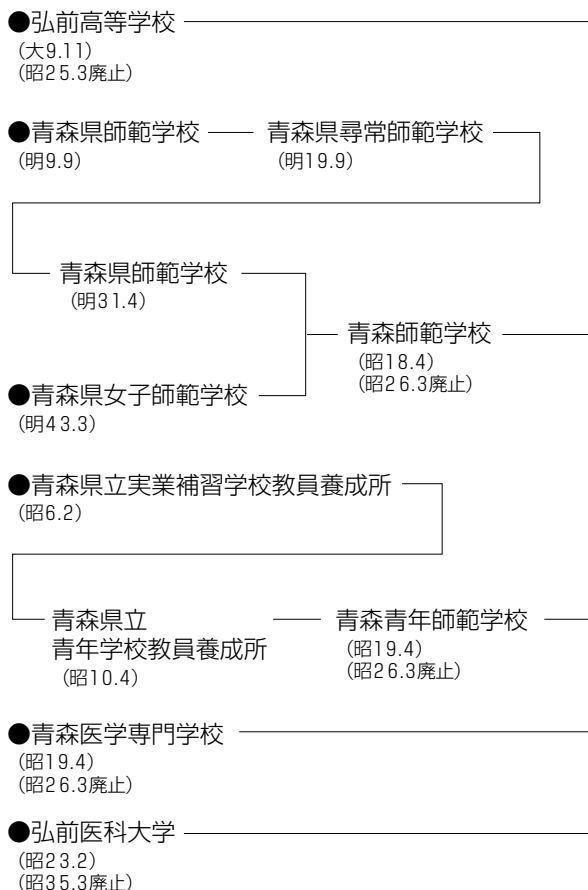
学外連携

地域の自治体や企業との協定と連携事業の推進、北東北国立3大学連携推進会議、コラボ産学官連携による大学間連携、地域の他の高等教育機関との連携、海外協定大学との国際交流等を通じて、学術交流、人材交流等を推進する。

管理運営

弘前大学の目標や機能を十分に実現・発揮するために、教職員・学生の意見の集約や学長のリーダーシップの発揮による運営の強化を図るとともに、教職員と学生の資質の向上や意欲の喚起を促し、その成果を不断に検証しつつ改革を進める。

弘前大学の理念・目標	1
目次	2
沿革	3
教育研究組織図	5
事務機構図	6
歴代学長	7
役職員	8
学部	11
大学院	13
附置研究所	16
附属病院	17
附属図書館	19
学内共同教育研究施設等	20
特定プロジェクト教育研究センター	23
弘前大学機関研究	26
役職員数	27
入学者の状況／入学者の出身地	28
学生・生徒数	29
卒業生・修了者数	31
平成24年度卒業生の就職状況	32
学位(博士・修士)授与数／研究報告	33
日本学生支援機構奨学生数	34
国際交流協定締結大学	35
外国人留学生数	36
平成25年度収入と支出	37
科学研究費助成事業申請・採択状況	37
外部資金受入状況	38
部局等所在地	39
土地・建物	40
建物配置図	41
福利厚生施設等	45
サテライト／地域連携協定	46
部局等位置図(弘前市)	47
施設等位置図(青森県)	48



旧制弘前高等学校



青森師範学校

弘前大学

昭24. 5.31

●弘前大学設置

文理学部・教育学部・医学部・野辺地分校

昭26. 4. 1

●文理学部に農学科設置(昭30.3.31廃止)

昭30. 4. 1

●医学部附属看護学校設置(昭52.3.31廃止)

昭30. 7. 1

●医学部医学進学課程設置

昭31. 4. 1

●農学部設置

昭32. 4. 1

農学科(昭38.4.1廃止)

昭33. 4. 1

●農学部附属農場設置

昭35. 3.31

●医学部附属助産婦学校設置

昭35. 4. 1

(昭50.4.21廃止)

昭38. 4. 1

●大学院医学研究科(博士課程)設置

昭40. 4. 1

●教育学部野辺地分校廃止

昭41. 4. 1

●農学専攻科設置(昭46.3.31廃止)

昭42. 4. 1

●農学部園芸化学科・園芸農学科設置

昭43. 4. 1

●文理学部改組により人文学部(文学科・経済

昭44. 4. 1

学科)・理学部(数学科・物理学科・化学科・

昭45. 4. 1

生物学科)及び教養部設置

昭46. 4. 1

●教育学部に看護学校教員養成課程設置

昭47. 4. 1

●医学部附属脳卒中研究施設設置

昭48. 4. 1

●教育専攻科設置(平6.3.31廃止)

昭49. 4. 1

●看護教諭養成所設置(昭55.3.31廃止)

昭50. 4. 1

●農学部園芸農学科設置

昭51. 4. 1

●医学部附属衛生検査技師学校設置

昭52. 4. 1

(昭47.4.1医学部附属臨床検査技師学校と

昭53. 4. 1

改称、昭53.3.31廃止)

昭54. 4. 1

●保健管理センター設置

昭55. 4. 1

●教育学部に特別教科(看護)教員養成課程

昭56. 4. 1

設置

昭57. 4. 1

●理学専攻科設置(昭53.3.31廃止)

昭58. 4. 1

●農学部園芸農学科を農学科と改称

昭59. 4. 1

●農学部園芸学科設置

昭60. 4. 1

●医学部附属診療放射線技師学校設置

昭61. 4. 1

(昭54.3.31廃止)

昭62. 4. 1

●大学院農学研究科(修士課程)設置

昭63. 4. 1

●人文学専攻科設置(平11.3.31廃止)

昭64. 4. 1

●教育学部に幼稚園教員養成課程設置

昭65. 4. 1

●教育学部附属看護学校設置

昭66. 4. 1

●医療技術短期大学部設置(看護科・専攻科助

昭67. 4. 1

産学特別専攻)

昭68. 4. 1

●理学部に地球科学科設置

昭69. 4. 1

●医療技術短期大学部に衛生技術学科設置

昭70. 4. 1

●医療技術短期大学部看護科を看護学科と

昭71. 4. 1

改称

昭72. 4. 1

●大学院理学研究科(修士課程)設置

昭73. 4. 1

●医療技術短期大学部に診療放射線技術学科

昭74. 4. 1

設置

昭75. 4. 1

●教育学部に看護教諭養成課程設置

昭76. 4. 1

●医学部附属動物実験施設設置

昭77. 4. 1

●人文学部文学科を人文学科と改称

昭78. 4. 1

●医療技術短期大学部に理学療法学科・作業

昭79. 4. 1

療法学科設置

昭80. 4. 1

●理学部附属地震火山観測所設置

昭81. 4. 1

●情報処理センター設置(平6.6.23廃止)

昭82. 4. 1

●理学部に情報科学科設置

昭83. 4. 1

●教育学部附属教育実践研究指導センター

平成元. 4. 1

設置

平成元. 5. 29

●大学院人文科学研究科(修士課程)設置

●医学部附属脳卒中研究施設改組により医学部

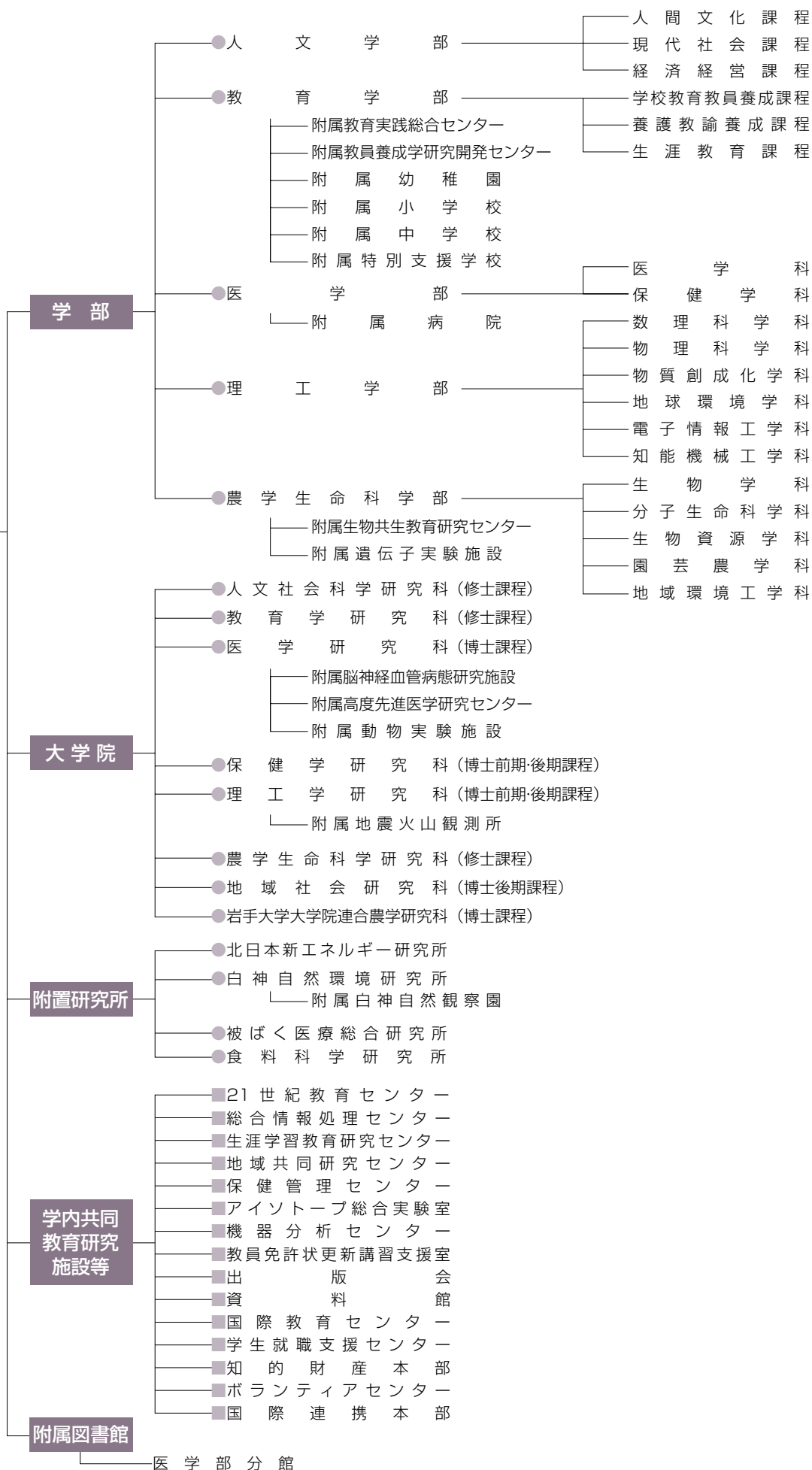
附属脳神経疾患研究施設設置

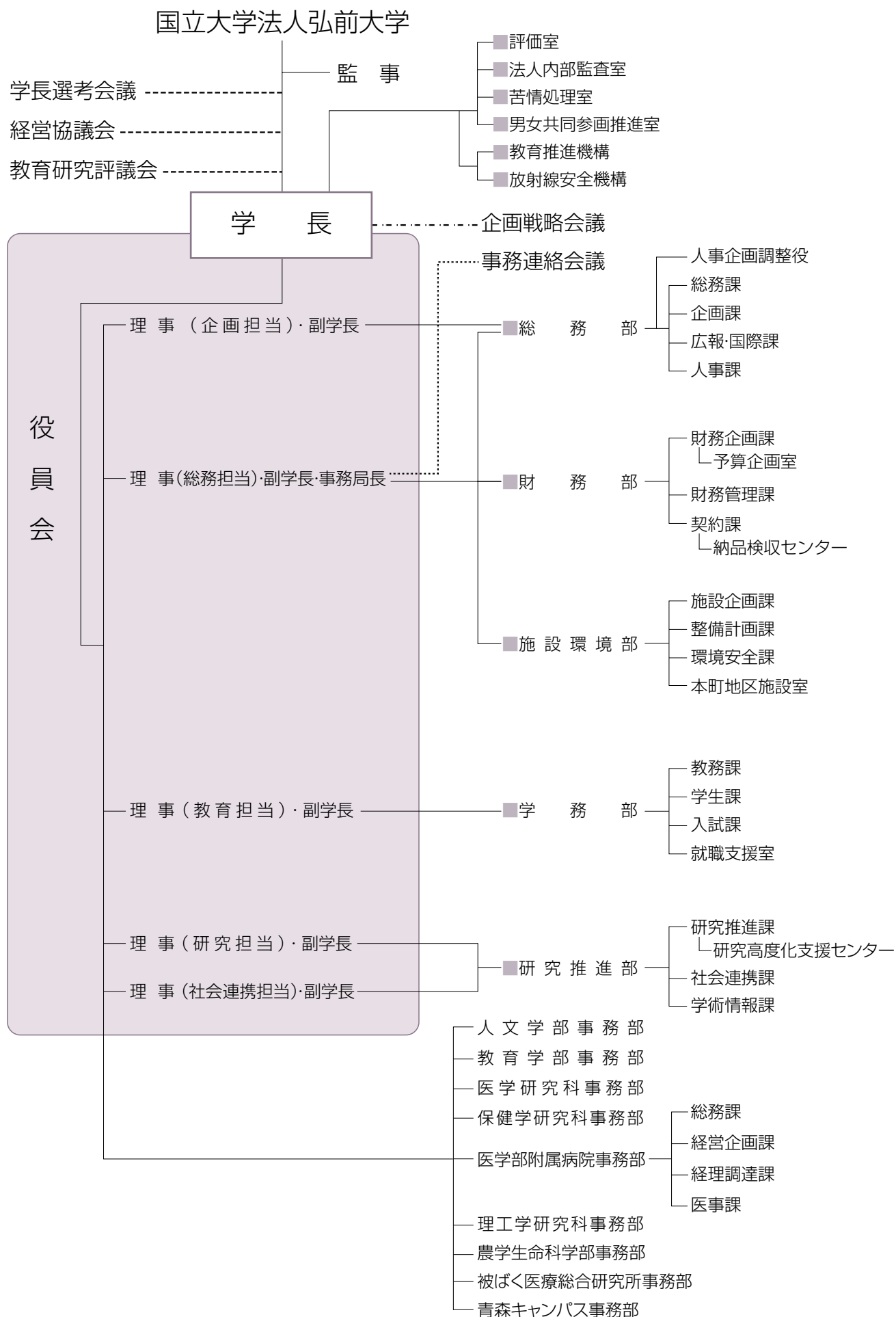
平成 2. 4. 1	●農学部学科改組により生物資源科学科・農業生産科学科・農業システム工学科設置
平成 5. 4. 1	●岩手大学、弘前大学、山形大学で構成する岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)に参加
平成 6. 4. 1	●遺伝子実験施設設置
平成 6. 6. 24	●大学院教育学研究科(修士課程)設置
平成 8. 5. 11	●総合情報処理センター設置
平成 9. 4. 1	●生涯学習教育研究センター設置
平成 9. 9. 30	●地域共同研究センター設置
平成 9. 10. 1	●教養部廃止
平成 10. 4. 1	●理学部、農学部改組により理工学部、農学生命学部設置
平成 10. 4. 1	●人文学部学科改組により人間文化課程・情報マネジメント課程・社会システム課程設置
平成 11. 4. 1	●大学院人文科学研究科改組により大学院人文社会科学研究所(修士課程)設置
平成 11. 10. 1	●医学部附属脳神経疾患研究施設改組により医学部附属脳神経血管病態研究施設設置
平成 12. 4. 1	●アイントープ総合実験室設置
平成 12. 10. 1	●教育学部改組により学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程・特別教科(看護)教員養成課程・生涯教育課程を設置
平成 13. 4. 1	●農学生命科学部附属農場改組により農学生命科学部附属生物共生教育研究センター設置
平成 13. 10. 1	●教育学部特別教科(看護)教員養成課程及び医療技術短期大学の改組により医学部保健学科を設置
平成 14. 4. 1	●教育学部附属教育実践研究指導センターの改組により教育学部附属教育実践総合センターを設置
平成 15. 4. 1	●21世紀教育センター設置
平成 15. 9. 9	●大学院理工学研究科改組により大学院理工学研究科(修士課程)設置
平成 16. 4. 1	●大学院農学研究科改組により大学院農学生命科学研究科(修士課程)設置
平成 16. 6. 28	●大学院地域社会研究科(博士課程)設置
平成 17. 4. 1	●留学生センター設置
平成 18. 4. 1	●機器分析センター設置
平成 19. 4. 1	●教育学部附属教員養成学研究開発センター設置
平成 20. 4. 1	●国立大学法人弘前大学設立
平成 21. 4. 1	●弘前大学設置
平成 22. 4. 1	●大学院理工学研究科(博士課程)設置
平成 23. 4. 1	●出版会設置
平成 24. 4. 1	●大学院医学系研究科保健学専攻(修士課程)を設置し、医学研究科を医学系研究科と改称
平成 25. 4. 1	●人文学部情報マネジメント課程を現代社会課程に、社会システム課程を経営経営課程と改称
平成 26. 4. 1	●理工学部学科改組により数理科学科・物理科学科・物質創成化学科・地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科を設置
平成 27. 4. 1	●大学院医学系研究科(修士、博士課程)を医学研究科(博士課程)と改称
平成 28. 4. 1	●大学院保健学研究科(博士課程)を設置
平成 29. 4. 1	●教育学部附属養護学校を附属特別支援学校と改称
平成 30. 4. 1	●留学生センターを国際交流センターに改組
平成 31. 4. 1	●農学生命科学部学科改組により生物学科・分子生命科学科・生物資源学科・園芸農学科・地域環境工学科を設置
平成 32. 4. 1	●教員免許状更新講習支援室設置
平成 33. 4. 1	●北日本新エネルギー研究センター設置
平成 34. 4. 1	●青森キャンパス設置
平成 35. 4. 1	●白神自然観察園設置
平成 36. 4. 1	●男女共同参画推進室設置
平成 37. 4. 1	●被ばく医療教育研究施設設置

平成 22. 4. 1	●理工学研究科(博士前期課程)改組により理工学専攻を設置
平成 22. 10. 1	●北日本新エネルギー研究センター、白神自然観察園及び被ばく医療教育研究施設を改組し、北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所及び被ばく医療総合研究所を設置
平成 23. 4. 1	●遺伝子実験施設を農学生命科学部教育研究附属施設に移管
平成 24. 4. 1	●農学生命科学研究科(修士課程)改組により農学生命科学専攻を設置
平成 24. 10. 1	●資料館設置
平成 25. 3. 25	●食料科学研究所設置
平成 25. 4. 1	●国際交流センターを廃止し、国際教育センター設置



弘前大学







医学博士／理学博士	丸 井 清 泰	昭 24. 5.31－28. 8.19
事務取扱	富 野 壮子路	昭 28. 8.19－29. 1.31
理学博士	郡 場 寛	昭 29. 2. 1－32.12.15
事務取扱	富 野 壮子路	昭 32.12.15－33. 1.31
理学博士	野 村 七 録	昭 33. 2. 1－37. 1.31
医学博士	佐 藤 熙	昭 37. 2. 1－43. 1.31
経済学博士	柳 川 昇	昭 43. 2. 1－47. 1.31
医学博士	臼 渕 勇	昭 47. 2. 1－53. 1.31
医学博士	大 池 弥三郎	昭 53. 2. 1－57. 1.31
教育学博士	牧 野 吉五郎	昭 57. 2. 1－61. 1.31
医学博士	東 野 修 治	昭 61. 2. 1－平 4. 1.31
理学博士	手代木 涉	平 4. 2. 1－ 8. 1.31
医学博士	吉 田 豊	平 8. 2. 1－14. 1.31
医学博士	遠 藤 正 彦	平 14. 2. 1－24. 1.31
医学博士	佐 藤 敬	平 24. 2. 1－

平成25年5月1日現在

役員等

■学長	佐藤敬
■理事(企画担当)・副学長	神田健策
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	江羅茂
■理事(教育担当)・副学長	中根明夫
■理事(研究担当)・副学長	加藤陽治
■理事(社会連携担当)・副学長	大河原隆
■監事	北川順一
■監事	小田切達
■学長特別補佐	井口泰孝
■学長特別補佐	神本正行
■学長特別補佐	藤哲
■学長特別補佐	南條宏肇
■学長特別補佐	羽田隆吉

学長選考会議委員

■経営協議会委員	岡井眞
■経営協議会委員	櫛引利貞
■経営協議会委員	熊地貴志
■経営協議会委員	永澤弘夫
■経営協議会委員	山本和之
■教育研究評議会評議員	今井正浩
■教育研究評議会評議員	佐々木長市
■教育研究評議会評議員	中路重之
■教育研究評議会評議員	吉澤篤
■教育研究評議会評議員	檜貢
■理事(企画担当)・副学長	神田健策
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	江羅茂

経営協議会委員

■学長	佐藤敬
■理事(企画担当)・副学長	神田健策
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	江羅茂
■理事(教育担当)・副学長	中根明夫
■理事(研究担当)・副学長	加藤陽治
■理事(社会連携担当)・副学長	大河原隆
■医学部附属病院長	藤哲
■食料科学研究所長	鈴木裕之
■青森県副知事	青山祐治
■八戸学院大学長	大谷真樹
■岡井公認会計士事務所長	岡井眞
■21あおもり産業総合支援センター理事長	加藤丈夫
■カネショウ(株)代表取締役社長	櫛引利貞
■みちのく銀行取締役兼常務執行役員総務部長	熊地貴志
■青森県教育委員会委員	島康子
■弘前商工会議所会頭	永澤弘夫
■(株)NHK文化センター弘前支社支社長	山本和之

教育研究評議会評議員

■学長	佐藤敬
■理事(企画担当)・副学長	神田健策
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	江羅茂
■理事(教育担当)・副学長	中根明夫
■理事(研究担当)・副学長	加藤陽治
■理事(社会連携担当)・副学長	大河原隆
■人文学部長	今井正浩
■教育学部長	伊藤成治
■農学生命科学部長	佐々木長市
■大学院医学研究科長	中路重之
■大学院保健学研究科長	對馬均
■大学院理工学研究科長	吉澤篤
■大学院地域社会研究科長	檜貢
■北日本新エネルギー研究所長	村岡洋文
■白神自然環境研究所長	檜垣大助
■被ばく医療総合研究所長	柏倉幾郎
■食料科学研究所長	鈴木裕之
■21世紀教育センター長	木村宣美
■附属図書館長	長谷川成一
■人文学部教授	長谷川成一
■教育学部教授	大坪正一
■農学生命科学部教授	張樹槐
■大学院医学研究科教授	奥村謙
■大学院保健学研究科教授	木田和幸
■大学院理工学研究科教授	宮永崇史
■医学部附属病院副院長	福田眞作
■保健管理センター所長	高梨信吾
■地域共同研究センター長	伊東俊司
■出版会編集長	郡千寿子
■男女参画推進室長	日景弥生

評価室

■理事(企画担当)・副学長	神田健策
■人文学部教授	山本秀樹
■人文学部教授	佐藤和之
■教育学部教授	和田美亀雄
■教育学部教授	面澤和子
■大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設教授	上野伸哉
■大学院医学研究科教授	大山力
■大学院保健学研究科准教授	三浦富智
■大学院保健学研究科准教授	北宮千秋
■大学院理工学研究科教授	氏家良博
■大学院理工学研究科教授	糠塚いそし
■農学生命科学部教授	比留間潔
■農学生命科学部准教授	本多和茂
■企画課長	齊藤明久
■教務課長	澤田佳代

■研究推進課長	竹 内 新
■大学院理工学研究科教授	中 里 博
■総務部企画課係長	秋 元 弓 子

法人内部監査室

■理事(企画担当)・副学長	神 田 健 策
■教育学部教授	本 間 正 行
■農学生命科学部教授	杉 山 修 一
■大学院理工学研究科事務長	太 田 修 造
■医学部附属病院経営企画課課長補佐	佐々木 健 一
■法人内部監査室室長補佐	三 上 伸 悦
■法人内部監査室係長	西 谷 裕 儀

苦情処理室

■食料科学研究所長	鈴 木 裕 之
■大学院地域社会研究科長	檜 楨 貢
■大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設長	若 林 孝 一
■医学部附属病院総務課長	石戸谷 昌 実
■総務部人事課課長補佐	飯 田 有知子

男女共同参画推進室

■教育学部教授	日 景 弥 生
■農学生命科学部准教授	田 中 和 明
■人文学部講師	堀 智 弘
■教育学部講師	松 本 大
■大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設講師	山 田 順 子
■大学院保健学研究科准教授	三 崎 直 子
■大学院理工学研究科准教授	野 田 香 織
■農学生命科学部准教授	柏 木 明 子
■医学部附属病院副薬剤部長	藤 田 祥 子
■総務部総務課課長補佐	加 藤 勇 樹
■総務部人事課課長補佐	庄 司 聡
■財務部財務企画課課長補佐	後 藤 真 吾
■人文学部准教授	吉 村 顕 真
■教育学部准教授	李 秀 真

事 務 局

■総務部長	中 村 幸 人
■総務課長	北 崎 哲 章
■企画課長	齊 藤 明 久
■広報・国際課長	小田桐 努
■人事課長	池 田 徹
■人事企画調整役	玉 田 邦 彦
■財務部長	須 藤 守
■財務企画課長	奥 田 晋 三

■財務管理課長	村 市 悟
■契約課長	浅 利 清 一
■学務部長	伊 藤 康 志
■教務課長	澤 田 佳 代
■学生課長	中 村 勝 之
■入試課長	林 田 宏 三
■就職支援室長	長 尾 久 好
■施設環境部長	天 野 良
■施設企画課長	武 田 裕 二
■整備計画課長	森 屋 昭 則
■環境安全課長	菅 野 俊 彦
■研究推進部長	山 崎 淳一郎
■研究推進課長	竹 内 新
■社会連携課長	山 田 修 平
■学術情報課長	工 藤 弘 文

人文学部

■学部長	今 井 正 浩
■事務長	三 浦 信 義

教育学部

■学部長	伊 藤 成 治
■附属教育実践総合センター長	大 高 明 史
■附属教員養成学研究開発センター長	北 原 啓 司
■附属幼稚園長	浅 野 清
■附属小学校長	宮 崎 秀 一
■附属中学校長	東 徹
■附属特別支援学校長	松 本 敏 治
■事務長	長 澤 淳

大学院医学研究科

■研究科長	中 路 重 之
■附属脳神経血管病態研究施設長	若 林 孝 一
■附属高度先進医学研究センター長	伊 東 健
■附属動物実験施設長	上 野 伸 哉
■事務長	齋 藤 伸 雄

大学院保健学研究科

■研究科長	對 馬 均
■事務長	長谷川 直 生

医学部附属病院

■病院長	藤 哲
■事務部長	寺 坂 和 記

■総務課長	石戸谷 昌 実
■経営企画課長	佐 野 進
■経理調達課長	深 田 浩 一
■医事課長	佐 藤 悟

青森キャンパス

■事務長

古 舘 賢 樹

大学院理工学研究科

■研究科長	吉 澤 篤
■附属地震火山観測所長	佐 藤 魂 夫
■事務長	太 田 修 造

農学生命科学部

■学部長	佐々木 長 市
■附属生物共生教育研究センター長	石 川 隆 二
■附属遺伝子実験施設長	佐 野 輝 男
■事務長	亀 谷 禎 清

大学院地域社会研究科

■研究科長	檜 楨 貢
-------	-------

附置研究所

■北日本新エネルギー研究所長	村 岡 洋 文
■白神自然環境研究所長	檜 垣 大 助
■被ばく医療総合研究所長	柏 倉 幾 郎
■食料科学研究所長	鈴 木 裕 之

学内共同教育研究施設等

■21世紀教育センター長	木 村 宣 美
■総合情報処理センター長	葛 西 真 寿
■生涯学習教育研究センター長	曾 我 亨
■地域共同研究センター長	伊 東 俊 司
■保健管理センター所長	高 梨 信 吾
■アイソトープ総合実験室長	土 田 成 紀
■機器分析センター長	橋 本 勝
■教員免許状更新講習支援室長	長 南 幸 安
■出版会編集長	郡 千寿子
■資料館長	長谷川 成 一
■国際教育センター長	中 根 明 夫
■学生就職支援センター長	石 川 善 朗
■知的財産本部長	加 藤 陽 治
■ボランティアセンター長	大河原 隆
■国際連携本部長	神 田 健 策

附属図書館・医学部分館

■館長	長谷川 成 一
■医学部分館長	藏 田 潔





人文学部

新たな時代の動きに対応できる専門性と多様性の追求を目指して

人文学部は、教育目標の力点を異にする3つの課程からなっていますが、いずれも国際化・情報化の進展によって、一層複雑・多様化している現代社会に適応できる、高い創造性や課題発見および解決能力を備えた人材の育成を目指しています。そのため、人文社会科学における専門知識の提供に加えて、多分野横断的な科目や外国語実習等の実践的科目も数多く提供します。

課 程
人間文化課程
現代社会課程
経済経営課程

講 座		
文化財論	思想文芸	コミュニケーション
国際社会	情報行動	ビジネスマネジメント
経済システム	公共政策	



教育学部

教員・教育者養成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程、生涯教育課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には、教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。

課 程
学校教育教員養成課程
養護教諭養成課程
生涯教育課程

講 座			
国語教育	社会科教育	数学教育	理科教育
音楽教育	美術教育	保健体育	技術教育
家政教育	英語教育	教育保健	学校教育



医学部(医学科)

医学部医学科では、以下のような「理念・目的」を定めています。

- 1 人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
- 2 豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力をもつ医師、医学研究者を養成します。
- 3 それぞれの専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
- 4 高度で先端的な医療を地域社会と連携しつつ実践します。

学 科
医学科

講 座
※講座は大学院医学研究科に所属。



医学部(保健学科)

高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は、国立大学法人として5専攻を有する我が国でも最大規模の医療専門職養成機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。

学 科 Department	専 攻 Courses
保健学科	看護学専攻 理学療法専攻
	放射線技術科学専攻 作業療法専攻
	検査技術科学専攻



理工学部

地球の豊かな未来をつくるサイエンス&テクノロジー

理工学部では、きめ細かな教育を通して、21世紀の高度情報化社会及び先端技術社会を担う、個性豊かで独創性に富む人材の育成を目指しています。教育カリキュラムは、激しく変化する社会に対応できる幅広い視野と、理工学分野に不可欠な基礎力を同時に習得できるように工夫されています。また、地域社会と連携した研究活動にも力を入れています。

学 科	キーワード
数理科学科	代数学
物理科学科	幾何学
物質創成化学科	固体物理学
	表面・界面物理学
	物理化学
	有機化学
	生体関連化学
	無機／分析化学
	機能物質化学
地球環境学科	外圏環境学
電子情報工学科	大気水圏環境学
知能機械工学科	地圏環境学
	応用電子材料
	電子情報機器
	自然防災工学
	コンピュータ応用
	マルチメディア処理
	持続型エコシステム工学(環境センシング、環境調和型エンジンシステム、火災安全システム)
	医用システム工学(マイクロ材料機能創製、医用デバイスシステム、ロボット知能システム)
	※理工学部では講座制を廃止しましたので、学科の内容が分かるようにキーワードを記載します。



農学生命科学部

生物学、農学、経済並びに工学における実験と実習を重点的に行います

農学生命科学部は、次の5学科から構成されます。生物学科では、生命の仕組みを理解し、自然環境の管理と保全を学びます。分子生命科学科では、ミクロから生命の不思議を解明し、新しいバイオテクノロジーを作り出します。生物資源学科では、健康を考えた食料の開発と生物を巡る環境を考えます。園芸農学科では、自然環境と調和した農業と食料生産を追求し、それを巡る経済問題を学びます。地域環境工学科では、農学と工学を結び、地域環境づくりを考えます。それぞれの学科には2つの教育コースがあります。学部には2つの附属農場があり、農畜産物の生産における実学的経験を通して、農学生命科学分野における専門基礎を獲得した人材の育成を目指します。

学 科	教育コース
生物学科	基礎生物学
分子生命科学科	生態環境
生物資源学科	生命科学
園芸農学科	応用生命
地域環境工学科	生産環境
	食農経済
	農山村環境
	農業土木

人文社会科学研究所(修士課程)

地域や世界に開かれた大学院として

人文社会科学研究所は、文化科学専攻と応用社会科学専攻の2専攻からなります。それぞれの分野に関連した学問の高度で特色のある教育・研究を通して、地域社会の課題や日本および世界全体の社会変化・制度改革に対応できる高度専門職業人の養成を目指しています。

専攻

文化科学専攻

応用社会科学専攻

教育学研究所(修士課程)

より深く学び、実践的に

教育学研究所は、教育学部の教職及び教科専門に関わる専門教育を基礎として、学校教育専攻、教科教育専攻並びに養護教育専攻をもつ、修業年限2年の修士課程です。教育科学、教科教育学及び教科専門の諸科学について、精深な教育を行うと共に、高度な教育実践の資質能力を備えた人材を育成し、更に社会の変動とこれに基づく価値意識の多様化に即応して、現職教員の再教育の場を提供し、地域文化の向上や継承のための人材を育成することを目的としています。

専攻

学校教育専攻

教科教育専攻

養護教育専攻

医学研究所(博士課程)

高度で専門的な教育・研究を行います。

医学研究所は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。その課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、また、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとします。

専攻	講座			
医科学専攻	基礎講座			
	神経解剖・細胞組織学 病態薬理学 社会医学	生体構造医科学 分子病態病理学 法医学	統合機能生理学 病理生命科学	ゲノム生化学 感染生体防御学
医科学専攻	臨床講座			
	消化器血液内科学 神経精神医学 整形外科 耳鼻咽喉科学 脳神経外科学 臨床検査医学 総合医学教育学	循環呼吸腎臓内科学 小児科学 皮膚科学 放射線科学 歯科口腔外科学 病理診断学 薬剤学	内分泌代謝内科学 胸部心臓血管外科学 泌尿器科学 産科婦人科学 形成外科学 小児外科学	腫瘍内科学 消化器外科学 眼科学 麻酔科学 救急・災害医学 医学医療情報学

附属教育研究施設等	講座			
附属脳神経血管病態研究施設	脳神経病理学	脳血管病態学	脳神経生理学	脳神経内科学
附属高度先進医学研究センター	分子生体防御学	糖鎖工学		
寄附講座	不整脈先進治療学 心臓血管病先進治療学 ソーシャルヘルスマネジメント学	先進移植再生医学 糖鎖医化学	地域医療学 地域健康増進学 地域がん疫学	
附属動物実験施設				

保健学研究科

博士前期課程

問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを発揮し指導的役割を果たすことのできる“コ・メディカルスタッフ”の育成を目標としています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療認定士コース(学内認定)も設定しています。

専攻

保健学専攻

博士後期課程

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身につけた教育・研究者を育成することを目的とします。

専攻

保健学専攻

理工学研究科

博士前期課程

理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる「高度専門職業人の育成」を目指しています。それぞれの学科における4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、更に進んだ理工学教育を行っています。

専攻

理工学専攻

博士後期課程

未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会的災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、幅広い視野と柔軟で総合的な判断力を持って課題に対応できる人材を育成します。

専攻

機能創成科学専攻

安全システム工学専攻

農学生命科学研究科(修士課程)

農学生命科学分野において高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には、生物学、分子生命科学、生物資源学、園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき、2つの教育プログラム、すなわち学術研究プログラム(研究者養成)または実践研究プログラム(専門技術者養成)からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し、熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

専攻

農学生命科学専攻

地域社会研究科(博士後期課程)

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力のある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「学術博士」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

専攻

地域社会専攻

岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)

国際水準を目指す研究者や高度専門職業人の養成

本研究科は、弘前大学の大学院農学生命科学研究科、岩手大学・山形大学大学院農学研究科(修士課程)及び帯広畜産大学の大学院畜産学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立されました。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学に関する先端的・学際的諸研究を推進することです。これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

専攻

生物生産科学専攻

生物資源科学専攻

寒冷圏生命システム学専攻

生物環境科学専攻



北日本新エネルギー研究所

設置：平成22年10月

北日本新エネルギー研究所では、寒冷地特有のエネルギーシステムに関する研究・教育・実践を行っています。主な研究は4分野に大別され、(1)燃料電池の材料・デバイス・システム開発やバイオマスの燃料変換技術の開発、(2)積雪寒冷地向け電気自動車の要素技術群の開発、(3)中低温熱水資源を利用した温泉発電、地熱発電と温泉の共生を目指したシステムの開発や地熱・地中熱資源のポテンシャル評価、(4)低コスト硅砂還元プロセスによる太陽電池級シリコンの製造技術の開発や余剰熱を電気に変換できる熱電変換素子の開発を実施しております。本研究所ではこれら以外にも、風力・潮流発電や省エネルギー関連技術を含めたエネルギー全般に関する研究に取り組んでおり、情報発信と人材育成によって新エネルギー産業の創造と地域産業の育成に努めています。



白神自然環境研究所

設置：平成22年10月

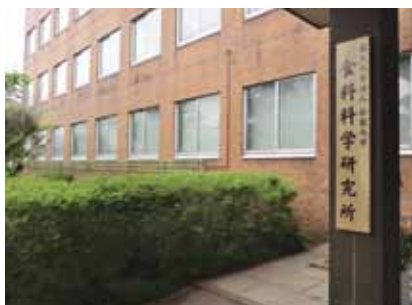
UNESCOの世界自然遺産にも登録されている白神山地には原生的なブナの林が広がり、多様な動植物が生息しています。この地域の生態系や遺伝子資源の研究は、今後大いに推進すべき価値があります。将来的なブナ林の減少も懸念されているなか、動植物の標本資料の収集や気象関係の基礎データの蓄積はますます重要性を増しています。また、白神山地は一般市民の関心も高く、環境教育の場や子どもたちの理科離れ対策に資する場としても期待されています。このような背景から、本研究所は白神山地の動植物の分類学的・生態学的研究、地球温暖化の影響の研究を進めるとともに、人と森林の関係を見つめ直すことを通して環境教育を推進することを目的としています。



被ばく医療総合研究所

設置：平成22年10月

原子力関連施設を数多く抱える青森県において、万が一の緊急被ばく事故に備えることは我が国のエネルギー政策を支える要件として重要です。被ばく医療総合研究所は、弘前大学における放射線被ばく医療に関する研究をさらに推進しつつ、各学部、研究科等における教育の支援を行うほか、全国に存在する原子力関連施設や被ばく医療施設における緊急被ばく医療事故に対応できる専門的人材の育成など、これまでにない取り組みを行っています。



食料科学研究所

設置：平成25年3月

2013年3月25日に、弘前大学は食料科学研究所を設置しました。青森県の地理的特徴および気候条件から、本県は農水産物資源が極めて豊富です。本研究所では食料科学分野に関する広範な研究を実施し、農林水産物高付加価値化、水産資源の保全と活用、ならびに先導的食料生産技術に関する研究部門を有しています。さらに、食育プログラムも開発し、健康的な長寿社会が地域に密着した食育活動を通じて実現することを示していきます。これらの研究活動を基に、地域産業の振興を通して健康的なライフスタイルの維持や食習慣の改善に貢献することが期待されます。



医学部附属病院

生命倫理に基づいた高度医療の提供、開発、教育

医学部附属病院は60年余に渡り、北東北医療圏の中心的中核病院として高度・高質医療の提供、先進医療の開発、医療従事者の教育・研修、それらを通しての地域貢献という役割を果たし、発展を続けています。

診療科

消化器内科	神経科精神科	耳鼻咽喉科
血液内科	小児科	放射線科
膠原病内科	呼吸器外科	産科婦人科
循環器内科	心臓血管外科	麻酔科
呼吸器内科	消化器外科	脳神経外科
腎臓内科	乳腺外科	形成外科
内分泌内科	甲状腺外科	小児外科
糖尿病代謝内科	整形外科	歯科口腔外科
感染症科	皮膚科	病理診断科
神経内科	泌尿器科	総合診療部
腫瘍内科	眼科	高度救命救急センター

高度救命救急センター



医学部附属病院には、緊急被ばく医療にも対応する高度救命救急センターが稼働しています。

[航空写真]

↓ センター建造物

↓ ヘリポート

病床数

平成25年5月1日現在

診療科	病床種別数		
	一般	精神	感染
消化器内科／血液内科／膠原病内科	37		
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	49 (59)		
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科	36		
神経内科	9		
腫瘍内科	10		
神経科精神科		41	
小児科	37		
呼吸器外科／心臓血管外科	25		
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	45		
整形外科	40		
皮膚科	12		
泌尿器科	37		
眼科	36		
耳鼻咽喉科	36		
放射線科	17		
産科婦人科	38		
麻酔科	6		
脳神経外科	27		
形成外科	15		
小児外科	6		
歯科口腔外科	10		
感染症病床			6
共通病床	6		
R I	5		
I C U	10		
I C T U	4		
N I C U	6		
G C U	10		
高度救命救急センター	20 (10)		
合計	589	41	6

※1 ()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。

※2 ()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。



災害派遣医療チーム(DMAT)



陽電子放出型CT(PET-CT)



遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチ」

患者数

平成24年度

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科／血液内科／膠原病内科	11,135	30.5	27,181	110.9
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	21,334	58.4	26,007	106.2
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科	10,475	28.7	25,921	105.8
神経内科	2,800	7.7	7,165	29.2
腫瘍内科	3,575	9.8	6,227	25.4
神経科精神科	9,769	26.8	27,051	110.4
小児科	13,385	36.7	7,840	32.0
呼吸器外科／心臓血管外科	9,413	25.8	5,028	20.5
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	15,593	42.7	14,142	57.7
整形外科	15,968	43.7	38,482	157.1
皮膚科	4,473	12.3	15,755	64.3
泌尿器科	13,242	36.3	17,114	69.9
眼科	8,202	22.5	24,577	100.3
耳鼻咽喉科	11,321	31.0	14,406	58.8
放射線科	6,962	19.1	45,992	187.7
産科婦人科	12,359	33.9	24,333	99.3
麻酔科	959	2.6	17,228	70.3
脳神経外科	10,246	28.1	6,865	28.0
形成外科	4,683	12.8	4,055	16.6
小児外科	1,967	5.4	2,142	8.7
総合診療部	—	—	468	1.9
高度救命救急センター	698	1.9	560	2.3
歯科口腔外科	3,468	9.5	11,935	48.7
合計	192,027	526.1	370,474	1,512.1

(注)外来診療実日数245日

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
入院患者数	196,770	194,636	196,616	194,669	192,027
外来患者数	350,067	357,674	361,296	370,401	370,474

弘前大学附属図書館は1949年5月に設置され、附属図書館本館、医学部分館の構成で運用されています。現在約83万冊の図書資料を所蔵し、教育・研究図書資料をはじめDVD等の電子資料や電子ジャーナル約11,800誌の閲覧が可能です。利用サービスは、休業期間中を除き土曜日、日曜日も開館し、教育・研究活動を支援すると共に地域社会にも公開し学外者への貸出を行っています。また、インターネットホームページにより、利用案内、蔵書目録、電子ジャーナル、大学研究情報等の情報発信を行っています。



附属図書館

蔵書数

平成25年3月31日現在

区 分	本 館		医学部分館		合 計
	和漢書	洋 書	和漢書	洋 書	
合 計	496,159	162,579	100,122	74,871	833,731

利用状況

平成24年度

区 分	開館日数	入館者数	貸 出	
			人 数	冊 数
本 館	302	201,812	21,318	39,448
医 学 部 分 館	329	36,562	8,368	14,739
合 計		238,374	29,686	54,187



ピーターパン・バリ文庫

21世紀教育センター

設置：平成13年10月

21世紀教育センターは、本学における教養教育科目である21世紀教育科目の目標を、「21世紀を生きるうえで必要となる基本的な力を養う」と定め、その実施に関する企画、立案及び調整並びに教育内容・授業方法の改善及び広報活動を行うと共に、21世紀教育に関する自己点検・評価等について担当しています。



総合情報処理センター

設置：平成6年6月

総合情報処理センターは、616台のパーソナルコンピュータや各種サーバから構成される情報システムと情報ネットワークの管理運用を通じて、弘前大学における教育、研究、その他の業務の利用を支援しています。また、学術情報ネットワーク(SINET)の拠点校として、青森県内の学術機関のネットワークセンターとしての役割を担っています。



生涯学習教育研究センター

設置：平成8年5月

「大学開放」の一環として、地方自治体等と連携しながら公開講座や講演会等を開催し、地域住民に学習機会を提供しています。また、地域生涯学習を推進するため、医療・福祉なども含め地域社会の課題や住民の生活実態・学習要求を把握し、生涯学習に関する調査研究を行っています。



地域共同研究センター

設置：平成9年4月

地域共同研究センターは、弘前大学が蓄積した学術資産(知的財産)・情報を産業界等に提供、さらに共同研究を実施することによって、地域の科学技術の振興、産業の発展、民生の向上に貢献することを目的とした地域密着型シンクタンクです。



保健管理センター

設置：昭和42年6月

保健管理センターでは、学生と職員が心身ともに健康な生活を送れるように援助やサービスを提供しています。例えば、健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリングなどを行っています。また、学生と職員の健康維持と病気予防のための研究調査を行っています。



アイソトープ総合実験室

設置：平成11年10月

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素(RI)を利用した教育・研究の学内共同利用施設です。学生実習のほか、医学における基礎的研究、臨床応用研究を中心に、全学的に利用されています。



機器分析センター

設置：平成15年9月

機器分析センターは、高性能分析機器を導入管理し、効率的な共同利用を推進することで弘前大学の研究の発展に寄与することを目的としています。さらに、保有機器を青森県内の民間企業や公的機関に開放し、地域の研究開発を支援しています。

教員免許状更新講習支援室

設置：平成20年10月

教員免許状更新講習支援室は、総合大学の特徴を活かしながら、教員免許更新制の目的に即した講習を実施することで、地域社会へ貢献することを目的とします。



出版会

設置：平成16年6月

出版会は、国立大学法人弘前大学設置記念事業の一環として設置されました。本出版会は、学術関連図書の刊行・頒布を主たる事業とし、本学及び北東北地方における研究とその成果の発表を助成することにより、我が国の学術・教育・研究の振興・発展に寄与することを目的としています。平成19年5月には、有限責任中間法人大学出版部協会への加盟を果たし、学術文化の向上と社会の進展への役割を担っています。



資料館

設置：平成24年10月

資料館は「弘前大学 過去から未来へ」をテーマとして開館しました。太宰治が学んだ官立弘前高等学校などの前身各校から現在の本学に至る歴史、そして未来へとつながる多彩な研究成果など、弘前大学のエッセンスを凝縮した展示を行っています。



国際教育センター

設置：平成25年4月

国際教育センターは、弘前大学の教育の国際化に資することを目的として、従来の国際交流センターを廃止し設置されました。センターでは、本学学生をグローバル人材として育成するための教育の推進を新しい仕事の柱に加えるとともに、弘前大学生への留学支援、外国人留学生の受け入れ支援のための教育、助言、国際的コミュニケーションの向上を目的とした英語の授業の提供、イングリッシュ라운ジの運営、地域の国際交流の支援などを行っています。



学生就職支援センター

設置：平成16年4月

学生就職支援センターでは、本学学生の社会観・職業観の涵養及び就職支援を全学的立場から行うことを目的とし、キャリア教育、インターンシップ、就職ガイダンス、業界研究会、合同企業説明会、学内個別企業説明会、就職相談、求人開拓及び情報収集を行っています。



知的財産本部

設置：平成16年4月

知的財産本部は、弘前大学の教職員の研究成果である発明等を知的財産の形で社会に還元し、もって大学の第三の使命である『社会貢献』を実現することを目的とします。



ボランティアセンター

設置：平成24年10月

弘前大学ボランティアセンターは、東日本大震災をきっかけに設置されました。本センターでは、自治体や各種NPO、市民団体と弘前大学との間に立ち、ボランティア派遣を円滑に行うための仲介機能を果たすことを目的としています。このような活動を通じて、大学と地域が課題解決に協働で取り組むネットワークを構築すると同時に、学生のみなさんに地域の人びととつながり、豊かな人間性、専門性を学ぶ教育の場を提供しています。

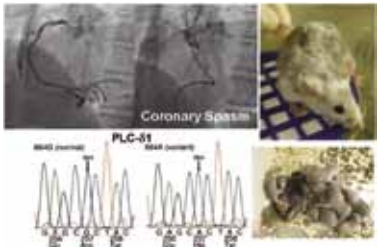


国際連携本部

設置：平成25年4月

国際連携本部は、本学の国際化推進に係る施策の企画立案等を行い、大学間協定校等との交流を通じ、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的としています。

弘前大学では、学部及び研究科における特徴ある教育、研究及び社会貢献に特化した研究者等の集団を組織化し、研究室の前に看板を掲げた学部及び研究科附属のセンターを設置しています。

学部	名 称	センター長
人文学部	 雇用政策研究センター	李 永 俊 教授
	雇用政策研究センターは、青森県内における若年者の就業意識や労働者の移動性向、企業家の意識などの調査研究をおこない、それらの成果の公表や政策的提言などを通じて地域の雇用問題解決に寄与すべく活動しております。	
教育学部	 亀ヶ岡文化研究センター	関 根 達 人 教授
	発掘調査を実施して亀ヶ岡文化の研究を多方面から行うと共に、良好な研究資料を収集し、展示しています。展示室は常設とし、年に1～2回、各地から工芸的にすぐれた資料を借り集め、特別展や講演会などを行い、ミニ博物館活動を実践しています。センターと展示室は、学内のみならず広く市民に公開し対話を行い、地域社会の文化の活性化にも取り組んでいます。	
教育学部	 国際音楽センター	和 田 美 亀 雄 教授
	音楽に関する教育及び実践研究を行い、弘前大学並びに教育学部の進展と地域における音楽文化振興に資することを目的としています。 業務内容: ①外国の音楽家・研究者との交流 ②音楽教育の振興 ③地域の音楽に関する調査及び情報の収集 ④その他音楽に関すること	
教育学部	 特別支援教育センター	安 藤 房 治 教授
	本センターは、小・中学校に在籍する発達障害児童・生徒を含む特別支援児童等とその保護者に対する相談・支援及びこれら児童・生徒に関わる学生教育と現職教員への研修機会の提供等を主たる業務としています。	
医学研究科	 循環器病研究センター	奥 村 謙 教授
	循環器病の原因を解明し、高度な医療を提供するため、基礎と臨床の講座が一体となって分子レベルから生体レベルまでの一貫した教育と研究(トランスレイショナル・リサーチ)を目指します。	

学部	名 称	センター長
医 学 研 究 科	 がん診療・研究センター	高 井 良 尋 教授
	 健康・スポーツ医科学センター	中 路 重 之 教授
	 移植医療研究センター	大 山 力 教授
保 健 学 研 究 科	 すこやかコミュニティ支援センター	對 馬 均 教授
	 看護職者の教育力開発支援センター	一 戸 とも子 教授
	 生体応答科学研究センター	柏 倉 幾 郎 教授

「北東北がんプロフェッショナル養成プラン」と「地域がん診療連携拠点病院」の中核として、がん関連人材育成と基礎―臨床―一体型の教育・研究・診療を展開し、地域医療に貢献します。

本センターは「スポーツや運動を通しての健康づくり」に活動の中心をおき、地域の皆さんの健康の維持・増進を目指します。また、スポーツ現場における適切な強化策(トレーニング方法、健康管理方法、コンディショニング方法など)の提案も行います。

本センターは糖鎖工学、感染生体防御学、消化器外科学、循環呼吸腎臓内科学、小児科学、麻酔科学、泌尿器科学の名講座及び健康増進科学分野、障害保健学分野の研究者によって構成されています。肝、腎及び骨髄移植に関する研究を、講座の枠を超えて効率よく推進するために設立されました。

すこやかコミュニティ支援センターでは、「生活習慣病の予防」や「高齢者の転倒予防」などのような社会的な健康課題に対して、健康支援科学領域における看護学、理学療法学、作業療法学の各分野が連携し、地域保健活動の支援窓口として、さまざまな支援活動を行っています。

本センターは、看護師、保健師、助産師等、看護職者の患者教育に関する機能を向上させる目的で設置されました。上記の目的を達成するために現職者支援部門と研究・開発部門を置き、看護職者への実践的な支援活動や調査・研究活動を行なっています。

本センターは、大学院保健学研究科のメンバーの横断的な連携から、教育・研究の推進・向上を図ることを目的としています。現在は、弘前大学機関研究課題を中心に、教育・研究活動を展開しています。

学部	名 称	センター長
理 工 学 研 究 科	 先進医用システム開発センター	小 野 俊 郎 教授
	 液晶材料研究センター	吉 澤 篤 教授
	 次世代型IT基盤技術開発センター	深 瀬 政 秋 教授
	 低環境負荷先端材料開発センター	伊 東 俊 司 教授
農 学 生 命 科 学 部	 りんご振興研究センター	荒 川 修 教授
	 イネ・バイオマス研究センター	佐々木 長 市 教授

医学と工学技術との学際的な学問分野に挑戦し、外科手術支援システムやマイクロ・ナノテクノロジーを基にした医用デバイスの開発を通して、Quality of Lifeの向上を目指しています。

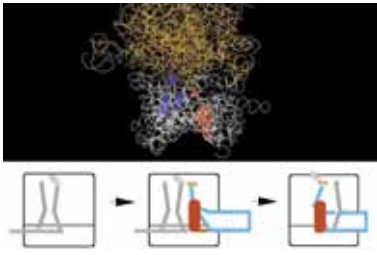
新しい液晶秩序を構築することによって、高速応答表示素子などの光エレクトロニクス材料を開発します。また、液晶状態を用いた新しい化学反応プロセスの開発や更には薬理活性の発現を目指した探索を行っています。

次世代型IT基盤技術として、超高速省電力ユビキタスプロセッサ、次世代ネットワーク用光半導体デバイス、新材料グリーンデバイス、大規模シミュレーションと大規模データ処理、コンピュータ・ヒューマンインターフェースを開発しています。

本センターでは、今日の豊かな生活を支え、持続的な社会の構築のため、炭素系材料や高温超伝導材料など、環境調和型の新機能材料の創製および効率的な創製技術の開発ならびにその技術応用への展開まで、総合的な開発研究を行っています。

本センターの目的は、青森県、特に津軽地域におけるりんご産業振興の要としての役割を果たすことです。りんご産業が直面している諸問題に関する研究に取り組むとともに、公開講座「りんごトーク」を実施し、研究成果の発表やりんご産業関係者による講演を行っています。

バイオエタノールはトウモロコシ、サトウキビ又はコメの発酵によって造られるアルコールです。バイオエタノールのためのコメ生産は、減反された水田の利活用にもなり、また地域の活性化につながります。本研究センターではコメからのバイオエタノールの生産効率の向上を目指し研究を行っています。

学部	名 称	センター長
農 学 生 命 科 学 部	 RNA研究センター	姫 野 俵 太 教授
	多様かつ機能未知のRNA及びそれに関わる生命システムに関してその構造、分子機能、生理機能を明らかにすることにより、そこから生命科学における新しい概念を引き出し、それをもとにこれまでの概念を越えた形での応用に結びつけることを目的とします。	
	 ナマコ研究センター	湊 谷 長 生 教授
	ナマコ研究センターは、次の課題について研究します。 ①陸奥湾でナマコ養殖漁業を促進するために、新しい技術の開発と理論の構築を目指します。 ②世界中のナマコを分類、整理し、標本として展示します。 ③ナマコの機能性研究と新規有用物質の探索を推進します。 ④ナマコを通して陸奥湾の環境保全について研究します。	

平成24年度 弘前大学機関研究について

弘前大学機関研究の選考に当たっては、第2期中期目標・中期計画の研究に関する目標の完遂に向けて、外部委員も含めた審査委員会による書類審査、ヒアリング審査及び学長の評価により、本学の看板となる特に重要な研究課題を選考しました。継続の研究課題(3件)の場合においても、新規申請課題と同様に審査の上、継続支援の可否を決定しました。

また、今後、機関研究に発展が期待できる研究課題については、機関研究に準ずる学長指定重点研究として支援を決定しました。

加えて、東日本大震災の復旧・復興に当たって、災害復旧・復興への効果が明確な研究について、研究成果をより加速的に発展させることを目的に、東日本大震災対応研究プロジェクトとして決定しました。

1. 機関研究

所属部局	職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	区 分(開始年度)
医学研究科	准教授	山田 勝也	細胞代謝イメージングに基づく腫瘍細胞評価と新たな診断・治療戦略の開発	新 規 (平成24年度)
医学研究科	教 授	中路 重之	現代病の病因解明・予防法構築に向けた包括的追跡研究	新 規 (平成24年度)
理工学研究科	教 授	岡崎 雅明	元素戦略に基づく普遍金属の多機能化による二酸化炭素資源化プロセスの開発	継 続 (平成23年度)
農学生命科学部	教 授	姫野 俵太	RNAから見た生命システムの新視点	継 続 (平成22年度)

2. 学長指定重点研究

所属部局	職 名	研究代表者	研 究 課 題 名
医学研究科	教 授	伊東 健	細胞内小器官・微小ドメイン間のクロストーク解析を基盤にした新規ストレス応答機構の解明
医学研究科	教 授	東海林 幹夫	認知機能障害の新たな病態解明による画期的病態修飾薬の開発

3. 東日本大震災対応研究プロジェクト(機関研究)

所属部局	職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	区 分(開始年度)
人文学部	教 授	李 永俊	北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究-社会・経済・法的アプローチ	新 規 (平成24年度)
保健学研究科	教 授	柏倉 幾郎	東日本大震災対応放射線科学研究プログラム	継 続 (平成23年度)

平成25年5月1日現在

学長・理事・監事等

学 長	理事・副学長	監 事	学長特別補佐	計
1	5	2(1)	5(4)	13(5)

()は非常勤で内数

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	附属学校 教員	計	事務職員 技術職員等	合 計
現 員	228	203	101	181	41	99	853	982	1,835
事 務 局	—	—	—	—	—	—	—	172	172
人 文 学 部	41	30	10	—	—	—	81	8	89
教 育 学 部	49	26	12	—	1	99	187	15	202
大 学 院 医 学 研 究 科	38	33	19	72	12	—	174	19	193
大 学 院 保 健 学 研 究 科	29	15	19	26	6	—	95	8	103
医 学 部 附 属 病 院	—	10	34	55	21	—	120	706	826
大 学 院 理 工 学 研 究 科	31	41	3	13	1	—	89	23	112
農 学 生 命 科 学 部	27	31	—	11	—	—	69	23	92
大学院地域社会研究科	2	1	—	—	—	—	3	—	3
北日本新エネルギー研究所	4	4	—	—	—	—	8	—	8
白神自然環境研究所	1	1	—	1	—	—	3	—	3
被ばく医療総合研究所	3	—	—	3	—	—	6	2	8
21世紀教育センター	—	1	—	—	—	—	1	—	1
総合情報処理センター	—	1	—	—	—	—	1	—	1
生涯学習教育研究センター	—	1	1	—	—	—	2	—	2
地域共同研究センター	1	—	—	—	—	—	1	—	1
保 健 管 理 セ ン タ ー	1	1	1	—	—	—	3	2	5
アイソトープ総合実験室	—	—	—	—	—	—	—	1	1
国 際 教 育 セ ン タ ー	1	6	2	—	—	—	9	—	9
学生就職支援センター	—	1	—	—	—	—	1	—	1
青 森 キ ャ ン パ ス	—	—	—	—	—	—	—	3	3

入学者の状況

平成25年度

区 分		入学定員	入 学 志 願 者 数				入 学 者 数		
			男	女	計	倍 率	男	女	計
人	文 学 部	345	577	562	1,139	3.30	185	163	348
教	育 学 部	240	381	541	922	3.84	100	142	242
医	学 部 医 学 科	107	673	342	1,015	9.49	67	40	107
医	学 部 保 健 学 科	200	296	467	763	3.82	69	131	200
理	工 学 部	300	810	177	987	3.29	257	49	306
農	学 生 命 科 学 部	185	589	377	966	5.22	121	68	189
計		1,377	3,326	2,466	5,792	4.21	799	593	1,392
大 学 院	人 文 社 会 科 学 研 究 科(修 士 課 程)	16	9	6	15	0.94	7	3	10
	教 育 学 研 究 科(修 士 課 程)	32	21	29	50	1.56	16	21	37
	医 学 研 究 科(博 士 課 程)	50	29	15	44	0.88	28	15	43
	保 健 学 研 究 科(博 士 前 期 課 程)	25	13	14	27	1.08	13	14	27
	保 健 学 研 究 科(博 士 後 期 課 程)	9	8	6	14	1.56	8	6	14
	理 工 学 研 究 科(博 士 前 期 課 程)	90	110	8	118	1.31	85	6	91
	理 工 学 研 究 科(博 士 後 期 課 程)	8	8	0	8	1.00	7	0	7
	農 学 生 命 科 学 研 究 科(修 士 課 程)	60	31	18	49	0.82	29	13	42
	地 域 社 会 研 究 科(博 士 後 期 課 程)	6	5	3	8	1.33	5	3	8
計		296	234	99	333	1.13	198	81	279

〔注〕私費外国人留学生特別選抜は除く。

入学者の出身地

平成25年度

区 分	入学者数	出 身 地							
		北海道	東 北		関 東	中 部	近 畿	その他	
			青森県	その他					
人 文 学 部	348	111	134	88	9	5	1	0	
教 育 学 部	242	38	105	66	21	10	0	2	
医 学 部 医 学 科	107	4	42	10	36	6	5	4	
医 学 部 保 健 学 科	200	45	98	48	3	4	0	2	
理 工 学 部	306	132	109	40	12	7	2	4	
農 学 生 命 科 学 部	189	58	54	32	20	18	3	4	
計	1,392	388	542	284	101	50	11	16	

2年次編入学

平成24年度

区 分		入学定員	入学志願者数				入学者数		
			男	女	計	倍 率	男	女	計
医	学 部 医 学 科	20	258	84	342	17.10	20	0	20

〔注〕医学部医学科は、平成24年10月1日入学

3年次編入学

平成25年度

区 分		入学定員	入学志願者数				入学者数		
			男	女	計	倍 率	男	女	計
医	学 部 保 健 学 科	30	8	22	30	1.00	0	7	7
理	工 学 部	10	17	2	19	1.90	3	1	4
農	学 生 命 科 学 部	*若干名	4	7	11	—	1	3	4
計		40	29	31	60	1.50	4	11	15

*は、定員外の募集人員を表す。

学部

平成25年5月1日現在

学 部	学 科・課 程	入 定 学 員	第2年次 編入学	第3年次 編入学	収 定 容 員	現 員														計
						1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次				
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
人 文 学 部	情報マネジメント課程	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	2		
	人 間 文 化 課 程	115	－	－	460	42	74	45	74	32	85	53	84	－	－	－	－	489		
	現 代 社 会 課 程	110	－	－	440	61	52	53	57	51	59	69	76	－	－	－	－	478		
	経 済 経 営 課 程	120	－	－	480	85	38	84	38	88	33	111	40	－	－	－	－	517		
	計	345	－	－	1,380	188	164	182	169	171	177	235	200	－	－	－	－	1,486		
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	145	－	－	580	68	75	79	77	70	73	71	91	－	－	－	－	604		
	養 護 教 諭 養 成 課 程	25	－	－	100	1	24	－	26	－	25	－	25	－	－	－	－	101		
	生 涯 教 育 課 程	70	－	－	280	31	43	32	47	31	38	28	55	－	－	－	－	305		
	計	240	－	－	960	100	142	111	150	101	136	99	171	－	－	－	－	1,010		
医 学 部	医 学 科	107	20	－	712	68	40	68	43	100	39	96	32	73	43	88	23	713		
	保 健 学 科	200	－	30	860	69	131	78	123	76	129	86	140	－	－	－	－	832		
	計	307	20	30	1,572	137	171	146	166	176	168	182	172	73	43	88	23	1,545		
理 工 学 部	電子情報システム工学科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1		
	数 理 科 学 科	40	－	－	160	34	7	34	7	31	7	40	7	－	－	－	－	167		
	物 理 科 学 科	40	－	－	160	34	7	34	5	38	5	44	4	－	－	－	－	171		
	物 質 創 成 化 学 科	46	－	－	184	38	8	39	8	37	10	50	11	－	－	－	－	201		
	地 球 環 境 学 科	58	－	－	232	41	18	39	18	42	16	47	17	－	－	－	－	238		
	電 子 情 報 工 学 科	58	－	－	232	57	4	56	3	58	4	65	6	－	－	－	－	253		
	知 能 機 械 工 学 科	58	－	－	232	54	5	55	3	53	7	71	3	－	－	－	－	252		
	学 部 共 通	－	－	10	20	－	－	－	－	3	1	4	1	－	－	－	－	8		
	計	300	－	10	1,220	258	49	257	44	262	50	322	49	－	－	－	－	1,291		
農 学 生 命 科 学 部	応 用 生 命 工 学 科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	2		
	生 物 生 産 科 学 科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	2		
	地 域 環 境 科 学 科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1		
	生 物 学 科	40	－	－	160	21	19	25	17	21	23	28	20	－	－	－	－	174		
	分 子 生 命 科 学 科	40	－	－	160	24	17	22	17	17	26	25	22	－	－	－	－	170		
	生 物 資 源 学 科	35	－	－	140	22	14	18	17	21	14	17	26	－	－	－	－	149		
	園 芸 農 学 科	40	－	－	160	29	13	19	21	28	13	24	17	－	－	－	－	164		
	地 域 環 境 工 学 科	30	－	－	120	25	6	20	9	24	5	20	9	－	－	－	－	118		
	計	185	－	－	740	121	69	104	81	111	81	118	95	－	－	－	－	780		
合 計		1,377	20	40	5,872	804	595	800	610	821	612	956	687	73	43	88	23	6,112		

大学院

平成25年5月1日現在

区 分		入 定 員	収 容 員	現 員								計
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				男	女	男	女	男	女	男	女	
大 学 院	人 文 社 会 科 学 研 究 科(修士課程)	16	32	7	3	5	12	－	－	－	－	27
	教 育 学 研 究 科(修士課程)	32	74	16	21	21	22	－	－	－	－	80
	医 学 研 究 科(博士課程)	50	200	30	16	34	13	34	15	57	22	221
	医 学 系 研 究 科(博士課程)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
	保 健 学 研 究 科(博士前期課程)	25	50	13	14	16	9	－	－	－	－	52
	保 健 学 研 究 科(博士後期課程)	9	27	8	6	5	3	8	7	－	－	37
	理 工 学 研 究 科(博士前期課程)	90	170	86	6	77	16	－	－	－	－	185
	理 工 学 研 究 科(博士後期課程)	8	24	10	－	6	2	11	1	－	－	30
	農 学 生 命 科 学 研 究 科(修士課程)	60	120	31	18	27	15	－	－	－	－	91
	地 域 社 会 研 究 科(博士後期課程)	6	18	5	3	2	4	18	6	－	－	38
計		296	715	206	87	193	96	71	29	57	23	762
岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程) ※現員数は弘前大学(指導教員)に属する学生数である。		32	96	3	1	5	1	4	1	－	－	15
合 計		328	811	209	88	198	97	75	30	57	23	777

附属学校

平成25年5月1日現在

区 分	総 定 員	学級数	現 員						計
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
附 属 幼 稚 園	130	5	3才児 28	4才児 29	5才児 29	—	—	—	86
附 属 小 学 校	726	21	102	90	92	111	103	104	602
附 属 中 学 校	600	15	200	188	188	—	—	—	576
附 属 特 別 支 援 学 校			低学年 5		中学年 5		高学年 6		16
(小 学 部)	18	3	6	4	6	—	—	—	16
(中 学 部)	18	3	8	8	8	—	—	—	24
(高 等 部)	24	3							
合 計	1,516								1,320

学 部

区 分 \ 年 度		昭和25～平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
文 理 学 部		1,392	—	—	—	—	—	1,392
人 文 学 部		9,848	348	317	308	318	336	11,475
教 育 学 部	4年課程	15,040	247	261	244	241	235	16,268
	2年課程	1,613	—	—	—	—	—	1,613
	計	16,653	247	261	244	241	235	17,881
医 学 部 医 学 科		5,033	102	97	90	97	107	5,526
医 学 部 保 健 学 科		864	213	204	210	210	212	1,913
理 学 部		5,112	—	—	—	—	—	5,112
理 工 学 部		1,974	296	299	285	301	285	3,440
農 学 部		4,541	—	—	—	—	—	4,541
農 学 生 命 科 学 部		1,299	179	195	175	190	185	2,223
合 計		46,716	1,385	1,373	1,312	1,357	1,360	53,503

(注) ●文理学部…昭和40年4月 人文学部、理学部に改組 ●理学部、農学部…平成9年10月 理工学部、農学生命科学部に改組

大学院

区 分 \ 年 度		昭和35～平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
人 文 科 学 研 究 科(修士課程)		111	—	—	—	—	—	111
人 文 社 会 科 学 研 究 科(修士課程)		119	9	6	6	10	12	162
教 育 学 研 究 科(修士課程)		432	36	34	29	24	24	579
医 学 研 究 科(博士課程)		1,620	28	24	43	42	46	1,803
医 学 系 研 究 科(修士課程)		50	4	—	—	—	—	54
保 健 学 研 究 科(博士前期課程)		—	21	22	21	26	22	112
保 健 学 研 究 科(博士後期課程)		—	—	9	7	10	8	34
理 学 研 究 科(修士課程)		844	—	—	—	—	—	844
理 工 学 研 究 科(修士課程)		153	—	—	—	—	—	153
理 工 学 研 究 科(博士前期課程)		275	76	71	78	111	107	718
理 工 学 研 究 科(博士後期課程)		10	6	6	1	5	1	29
農 学 研 究 科(修士課程)		435	—	—	—	—	—	435
農 学 生 命 科 学 研 究 科(修士課程)		233	39	51	55	44	50	472
地 域 社 会 研 究 科(博士後期課程)		8	1	4	2	4	1	20
合 計		4,290	220	227	242	276	271	5,526

(注) ●人文科学研究科(修士課程)…平成11年4月 人文社会科学研究科(修士課程)に改組 ●理学研究科(修士課程)…平成14年4月 理工学研究科(修士課程)に改組
●農学研究科(修士課程)…平成14年4月 農学生命科学研究科(修士課程)に改組 ●理工学研究科(修士課程)…平成16年4月 理工学研究科(博士前期課程)に改組

専攻科

区 分 \ 年 度	昭和35～平成10年度	合 計
人 文 学 専 攻 科(平成11年3月廃止)	41	41
教 育 専 攻 科(平成6年3月廃止)	100	100
理 学 専 攻 科(昭和53年3月廃止)	70	70
農 学 専 攻 科(昭和46年3月廃止)	28	28

医療技術短期大学部

区 分 \ 年 度		昭和50～平成15年度	合 計
学 科		4,615	4,615
専 攻 科		548	548

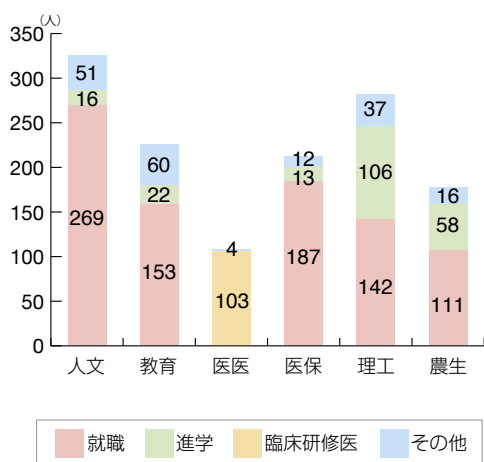
業種別就職者数

平成25年5月1日現在

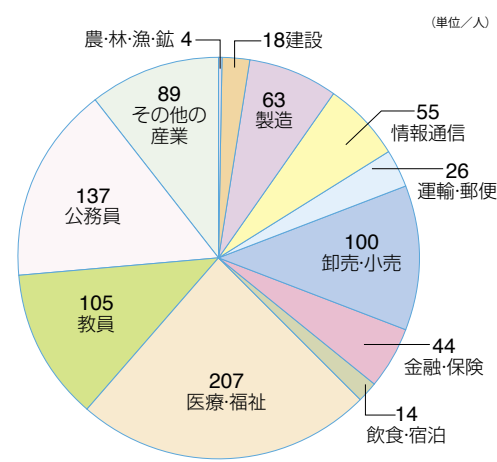
区 分		人文学部	教育学部	医学部医学科	医学部保健学科	理工学部	農学生命科学部	合計
就職先等								
卒業生数		336	235	107	212	285	185	1,360
就職者数	農・林・漁・鉱	1	—	—	—	—	3	4
	建設	6	1	—	—	7	4	18
	製造	20	—	—	—	22	21	63
	情報通信	21	2	—	—	28	4	55
	運輸・郵便	18	1	—	—	4	3	26
	卸売・小売	49	10	—	—	18	23	100
	金融・保険	29	7	—	—	5	3	44
	飲食・宿泊	8	3	—	—	3	—	14
	医療・福祉	7	9	—	187	3	1	207
	教育(教員)	小学校	35	—	—	—	—	35
		中学校	4	25	—	4	1	34
		高等学校	3	11	—	7	2	23
		※その他	—	12	—	—	1	13
	公務員	国家	—	—	—	3	1	13
		地方	61	20	—	19	24	124
	その他の産業	33	17	—	—	19	20	89
	計	269	153	—	187	142	111	862
進学者数		16	22	—	13	106	58	215
臨床研修医		—	—	103	—	—	—	103
上記以外		51	60	4	12	37	16	180

※印欄は、中等教育学校、高等専門学校、大学、特別支援学校及び幼稚園の教員数

学部別卒業後の状況



産業別就職者数



学位授与数

平成24年度

種 類	授 与 数					
	課程修了	論文審査	計	新制累計		旧制総数
				課程修了	論文審査	
修 士（文 学）	—	—	—	111	—	—
修 士（人 文 社 会 科 学）	12	—	12	162	—	—
修 士（教 育 学）	24	—	24	579	—	—
博 士（医 学）	46	2	48	1,803	880	469
修 士（保 健 学）	22	—	22	166	—	—
博 士（保 健 学）	8	—	8	34	1	—
修 士（理 学）	—	—	—	844	—	—
博 士（理 学 又 は 工 学）	1	—	1	30	—	—
修 士（理 工 学）	107	—	107	871	—	—
修 士（農 学）	—	—	—	435	—	—
修 士（農 学 生 命 科 学）	50	—	50	472	—	—
博 士（学 術）	1	1	2	23	3	—
合 計	271	3	274	5,530	884	469

研究報告

平成24年度

学 部 等	刊 行 物
人 文 学 部	人文社会論叢
教 育 学 部	弘前大学教育学部紀要 弘前大学教育学部研究紀要 クロスロード
大 学 院 医 学 研 究 科	弘前医学
大 学 院 保 健 学 研 究 科	保健科学研究
農 学 生 命 科 学 部	弘前大学農学生命科学部学術報告
大 学 院 地 域 社 会 研 究 科	弘前大学大学院地域社会研究科年報

平成25年3月1日現在

区 分 学部等		学生数 (A)	奨学生数			比率 $\frac{(B)}{(A)} \times 100\%$
			第一種	第二種	計 (B)	
人 文 学 部		1,481	355	515	870	58.7
教 育 学 部		1,002	223	374	597	59.6
医 学 部 医 学 科		712	120	180	300	42.1
医 学 部 保 健 学 科		844	256	323	579	68.6
理 工 学 部		1,282	287	474	761	59.4
農 学 生 命 科 学 部		773	180	243	423	54.7
計		6,094	1,421	2,109	3,530	57.9
大 学 院	人 文 社 会 科 学 研 究 科	30	3	—	3	10.0
	教 育 学 研 究 科	72	31	8	39	54.2
	医 学 系 研 究 科 (医 科 学)	2	—	—	—	—
	医 学 研 究 科 (医 科 学)	219	3	1	4	1.8
	保 健 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	46	6	—	6	13.0
	保 健 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	31	1	—	1	3.2
	理 工 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	206	84	45	129	62.6
	理 工 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	27	10	2	12	44.4
	農 学 生 命 科 学 研 究 科	105	50	13	63	60.0
	地 域 社 会 研 究 科	31	3	—	3	9.7
計		769	191	69	260	33.8
合 計		6,863	1,612	2,178	3,790	55.2

大学間協定

平成25年5月1日現在

締結大学	国名	締結年月日
テネシー大学マーチン校	アメリカ合衆国	昭和55年 7月 8日
ボルドー第三大学	フランス共和国	平成 6年 1月31日
哈爾濱師範大学	中華人民共和国	平成 7年 8月 1日
国立極東総合医科大学	ロシア連邦	平成 7年12月14日
メーン州立大学	アメリカ合衆国	平成 9年 6月26日
ヒッペリオン大学	ルーマニア	平成10年 9月11日
トリア大学	ドイツ連邦共和国	平成11年 5月 3日
延辺大学	中華人民共和国	平成12年 8月28日
ロモノソフモスクワ大学	ロシア連邦	平成12年 9月20日
オタゴ大学	ニュージーランド	平成12年 9月20日
鄭州大学	中華人民共和国	平成12年10月12日
チェンマイ大学	タイ王国	平成12年11月 2日
デブレツェン大学	ハンガリー共和国	平成12年12月22日
サンディエゴ州立大学	アメリカ合衆国	平成13年 3月19日
南ソウル大学校	大韓民国	平成13年 6月 1日
慶北大学校	大韓民国	平成13年 7月11日
サスカチュワン大学	カナダ	平成13年12月 7日
釜山大学校	大韓民国	平成13年12月12日
オーランド工科大学	ニュージーランド	平成13年12月12日
イルクーツク大学	ロシア連邦	平成14年 3月20日
ラ・フロンテラ大学	チリ共和国	平成14年 6月25日
京畿大学校	大韓民国	平成14年 9月25日
マウント・ロイアル大学	カナダ	平成17年 6月 1日
トンブソン・リバーズ大学	カナダ	平成18年10月19日
コンケン大学	タイ王国	平成20年 5月 6日
大連理工大学	中華人民共和国	平成21年12月28日

部局間協定

平成25年5月1日現在

学部	締結大学等	国名	締結年月日
人文学部	ヘルシンキ大学ルラリア研究所	フィンランド共和国	平成21年 9月 7日
	サハリン大学考古学・民族誌研究所	ロシア連邦	平成23年 3月28日
	サハリン州立郷土誌博物館	ロシア連邦	平成23年 3月28日
教育学部	サウスカロライナ大学	アメリカ合衆国	平成 6年 7月20日
医学研究科	テネシー大学保健科学センター	アメリカ合衆国	昭和57年 5月19日
	西インド大学	ジャマイカ	平成14年 2月25日
	中国医科大学	中華人民共和国	平成17年10月25日
保健学研究科	ストックホルム大学放射線防護研究センター	スウェーデン王国	平成25年 3月 6日
農学生命科学部	中国農業大学農学与生物技術学院	中華人民共和国	平成17年 8月 1日
北日本新エネルギー研究所	タマサート大学理工学部	タイ王国	平成25年 3月14日
被ばく医療総合研究所	韓国放射線医科学研究所緊急被ばく医療センター	大韓民国	平成25年 1月21日
	パンノニア大学工学部放射化学・放射生態学研究所	ハンガリー共和国	平成25年 3月18日

平成25年5月1日現在

区 分			国 名																		計
学 部 等		学 部 等	中国	台湾	大韓民国	タイ	マレーシア	インドネシア	バングラデシュ	モンゴル	ニュージーランド	アメリカ	チリ	ハンガリー	ルーマニア	ドイツ	フランス	カナダ	ロシア	ミャンマー	
学部留学生	私費正規留学生	人文学部	9		1		2			1											13
		教育学部	1																		1
		医学部医学科			1														1		2
		医学部保健学科					1														1
		理工学部	2				3	1													6
		農学生命科学部	2																		2
	私費研究生	教育学部	3																		3
	科目等履修生・聴講生	人文学部	5		8	7					1	4				4	4	1			34
		教育学部	2																		2
		理工学部	4										1								5
		農学生命科学部												1							1
	国費日本語・日本文化研修留学生	人文学部	2																1		3
大学院留学生	国費正規留学生	理工学研究科				1		3													4
		連合農学研究科							1												1
	国費教員研修留学生	教育学研究科																		1	1
	国費研究生	人文社会科学研究科												1	1						2
	私費正規留学生	人文社会科学研究科	3	1																	4
		教育学研究科	4																		4
		医学研究科	4																		4
		保健学研究科			1	1															2
		理工学研究科	4				1	1						1							7
		農学生命科学研究科	7					1													8
		地域社会研究科	1																		1
		連合農学研究科	1						2												3
	私費研究生	農学生命科学研究科				1															1
合 計			54	1	11	10	7	6	3	1	1	4	1	3	1	4	4	1	1	1	115

収入

単位：千円

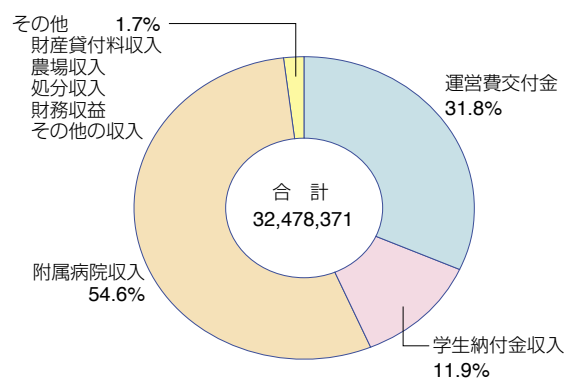
区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	10,312,590
自 己 収 入	22,165,781
学 生 納 付 金 収 入	3,876,643
附 属 病 院 収 入	17,740,578
財 産 貸 付 料 収 入	82,244
農 場 収 入	11,595
処 分 収 入	90
財 務 収 益	7,950
そ の 他 の 収 入	446,681
合 計	32,478,371

支出

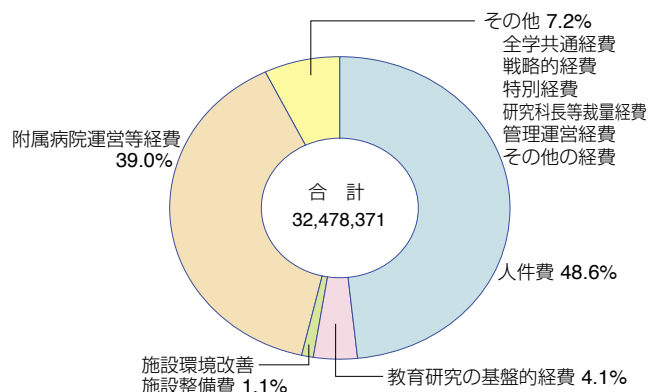
単位：千円

区 分	支 出 額
人 件 費	15,804,733
教 育 研 究 の 基 盤 的 経 費	1,331,284
附 属 病 院 運 営 等 経 費	12,654,563
全 学 共 通 経 費	196,428
戦 略 的 経 費	204,137
特 別 経 費	607,546
研 究 科 長 等 裁 量 経 費	221,593
施 設 環 境 改 善 施 設 整 備 費	349,127
管 理 運 営 経 費	194,569
そ の 他 の 経 費	914,391
合 計	32,478,371

収 入 (単位:千円)



支 出 (単位:千円)



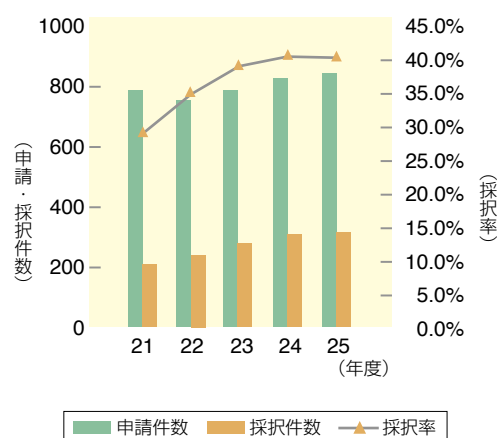
科学研究費助成事業(平成25年度)

単位：千円

研 究 種 目	件 数	配 分 額		
		直接経費	間接経費	計
新 学 術 領 域 研 究	6	24,100	7,230	31,330
基 盤 研 究 (A)	4	28,100	8,430	36,530
基 盤 研 究 (B)	24	83,400	25,020	108,420
基 盤 研 究 (C)	154	164,500	49,350	213,850
挑 戦 的 萌 芽 研 究	50	53,850	16,155	70,005
若 手 研 究 (A)	1	10,600	3,180	13,780
若 手 研 究 (B)	89	85,700	25,710	111,410
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	4	3,400	1,020	4,420
合 計	332	453,650	136,095	589,745

※件数及び金額は、本学に交付内定通知があったもの。(平成25年5月現在)

科学研究費助成事業申請・採択状況



外部資金受入状況(平成24年度)

単位:千円

部 局 等	民間等との共同研究費		受託研究費		寄 附 金	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
人 文 学 部	1件	—	1件	—	3件	723
教 育 学 部	3	2,450	5	3,027	5	2,200
医 学 研 究 科	11	9,170	25	93,779	540	584,566
保 健 学 研 究 科	2	1,120	6	12,010	29	16,341
医 学 部 附 属 病 院	—	—	3	1,533	50	21,081
理 工 学 研 究 科	14	23,301	25	86,910	20	14,143
農 学 生 命 科 学 部	12	18,519	17	45,271	24	21,068
地 域 社 会 研 究 科	—	—	6	3,320	1	1,080
北 日 本 新 工 ネ ル ギ ー 研 究 所	5	4,185	6	31,408	—	—
被 ば く 医 療 総 合 研 究 所	—	—	4	19,751	4	933
事 務 局	3	6,700	1	41,700	23	17,649
生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー	—	—	1	904	—	—
地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー	4	2,140	—	—	—	—
国 際 交 流 セ ン タ ー	—	—	1	1,500	—	—
保 健 管 理 セ ン タ ー	—	—	—	—	4	3,120
合 計	54	67,585	100	341,113	703	682,904

※件数: 複数年契約を含む

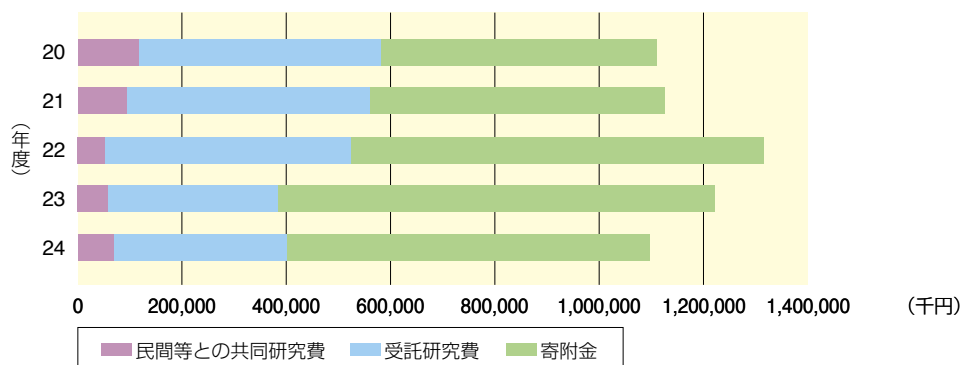
※金額: 平成24年度受入額

※医学部附属病院の受託研究費には治験を含んでいない。

外部資金受入状況

単位:千円

区 分	民間等との共同研究費		受託研究費		寄 附 金	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
平成20年度	62件	113,385	78件	472,448	751件	544,635
平成21年度	49	98,687	83	445,636	712	587,355
平成22年度	41	54,349	68	501,629	680	784,532
平成23年度	44	60,356	86	324,153	729	820,922
平成24年度	54	67,585	100	341,113	703	682,904



部 局 等 名	所 在 地		電話番号
事務局 人文学部 教育学部 教育学部附属教育実践総合センター 教育学部附属教員養成学研究開発センター 21世紀教育センター 保健管理センター 教員免許状更新講習支援室 出版会 資料館 国際教育センター 学生就職支援センター ボランティアセンター 国際連携本部 附属図書館 創立50周年記念会館 旧制弘前高等学校外国人教師館	〒036-8560 弘前市文京町1		0172-36-2111 (大代表)
北 溟 寮 (男 子 寮)	〒036-8253 弘前市緑ヶ丘1-8-4		0172-32-3364
国 際 交 流 会 館	〒036-8227 弘前市桔梗野2-20-17		0172-37-6854
理工学研究科 理工学研究科附属地震火山観測所 農学生命科学部 農学生命科学部附属遺伝子実験施設 地域社会研究科 総合情報処理センター 生涯学習教育研究センター 地域共同研究センター 機器分析センター 知的財産本部	〒036-8561 弘前市文京町3		0172-36-2111 (大代表)
医学研究科 医学研究科附属脳神経血管病態研究施設 医学研究科附属高度先進医学研究センター 医学研究科附属動物実験施設 アイソトープ総合実験室 附属図書館医学部分館	ユニバーシティ・ メディカルセンター	〒036-8562 弘前市在府町5	0172-33-5111 (大代表)
医学部附属病院		〒036-8563 弘前市本町53	
医学部附属病院看護師宿舎(研修医宿舎)		〒036-8311 弘前市相良町26	
保健学研究科 被ばく医療総合研究所		〒036-8564 弘前市本町66-1	
医学部コミュニケーションセンター		〒036-8203 弘前市本町40-1	0172-39-5401
			0172-39-5240
教育学部附属幼稚園 教育学部附属小学校 教育学部附属中学校	〒036-8152 弘前市学園町1-1		0172-32-6815 0172-32-7202 0172-32-7201
教育学部附属特別支援学校	〒036-8174 弘前市富野町1-76		0172-36-5011
北 鷹 寮 (男 子 寮) 朋 寮 (女 子 寮)	〒036-8152 弘前市学園町1-1		0172-32-2910
理工学研究科寒地気象実験室	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1		0172-36-2111 (大代表)
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場	〒038-3802 南津軽郡藤崎町藤崎下袋7-1		0172-75-3026
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター金木農場	〒037-0202 五所川原市金木町芦野84		0173-53-2029
農学生命科学部深浦実習所	〒038-2300 西津軽郡深浦町吾妻沢173		0173-74-3887
北日本新エネルギー研究所	〒030-0813 青森市松原2-1-3		017-735-3363
白神自然環境研究所	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1		0172-39-3915 (研究推進部社会連携課)
食料科学研究所	〒038-0012 青森市柳川12-1-1		017-763-5028
文京荘(非常勤講師宿泊施設)	〒036-8221 弘前市紙漣町3-8		0172-32-0715
深 浦 ハ ウ ス	〒038-2300 西津軽郡深浦町深浦岡崎338-229		0173-74-3085
八 戸 サ テ ラ イ ト	〒031-8511 八戸市堀端町2-3 八戸商工会館1階		0178-43-1600
青 森 サ テ ラ イ ト 教 室	〒030-0813 青森市松原2-1-3		0172-39-3108 (学務部教務課)
東 京 事 務 所	〒134-0091 東京都江戸川区船堀3-5-24 朝日信用金庫船堀センター5階 コラボ産学官プラザ in TOKYO内		03-5696-9412

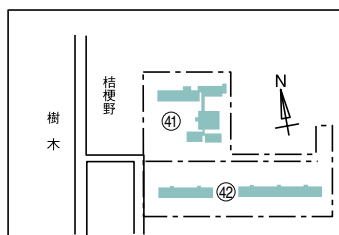
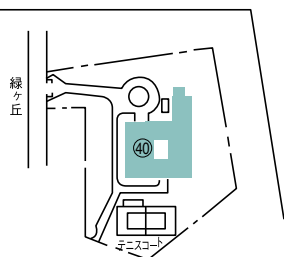
地 区	区 分	土地 (m ²)	建物延面積 (m ²)
文京町地区	事 務 局	135,267	2,349
	旧制弘前高等学校外国人教師館		123
	保 健 管 理 セ ン タ ー		477
	創 立 5 0 周 年 記 念 会 館		1,515
	電 話 交 換 室 ・ 車 庫 ほか		869
	人 文 学 部		6,089
	教 育 学 部		16,926
	教育学部附属教育実践総合センター		541
	総 合 教 育 棟		11,927
	附 属 図 書 館		6,102
	合宿所及びサークル共用施設		264
	大 学 会 館		4,952
	ボ イ ラ 室 及 び 消 火 設 備		923
	第 一 ・ 第 二 体 育 館		3,394
	弓 道 場		140
	農 学 生 命 科 学 部		13,200
	コラボレーションセンター		4,582
	コ ラ ボ 弘 大		3,758
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設		1,527
	理 工 学 研 究 科		22,663
	理工学研究科附属地震火山観測所		268
	総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー		2,351
	多 目 的 広 場		-
	武 道 場		883
	サ ー ク ル 棟		1,173
	計	135,267	106,996
学園町地区	教 育 学 部 附 属 幼 稚 園	176,403	1,065
	教 育 学 部 附 属 小 学 校		8,288
	教 育 学 部 附 属 中 学 校		8,171
	学 生 寄 宿 舎		6,379
	総 合 運 動 施 設		3,077
	計	176,403	26,980

地 区	区 分	土地 (m ²)	建物延面積 (m ²)
ユニバーシティ・ メディカル センター ([本町地区])	医学研究科・保健学研究科	94,511	54,686
	医学部コミュニケーションセンター		894
	野 球 場		-
	医 学 部 附 属 病 院		72,058
	体 育 館		1,457
	看 護 師 宿 舎 (研 修 医 宿 舎)		2,350
	被 ば く 医 療 総 合 研 究 所		210
	計	94,511	131,655
その他	学 生 寄 宿 舎	9,631	3,288
	教育学部附属特別支援学校	10,617	3,745
	教育学部附属特別支援学校実習施設	1,603	33
	教 育 学 部 農 業 実 習 地	10,812	17
	理工学研究科附属地震火山観測所		
	岩 崎 地 震 観 測 点	(617)	40
	三 厩 地 震 観 測 点	(747)	20
	泊 地 震 観 測 点	(524)	40
	梵 珠 山 火 山 観 測 点	(352)	
	浜 横 沢 火 山 観 測 点	(14)	
	百 沢 火 山 観 測 点	(180)	45
	農学生命科学部附属生物共生 教育研究センター藤崎農場	142,607	2,391
	農学生命科学部附属生物共生 教育研究センター金木農場	358,798	4,907
	深 浦 実 験 所	798	165
	北日本新エネルギー研究所		(2,454)
	白 神 自 然 環 境 研 究 所	(178,560)	255
	食 料 科 学 研 究 所	(200)	(316)
	深 浦 ハ ウ ス	6,632	159
	文 京 荘	1,617	581
	国 際 交 流 会 館	3,143	2,030
	職 員 宿 舎	5,147	9,379
	納 骨 堂	(30)	8
	埋 骨 堂	(18)	-
	そ の 他	3,676	
	計	736,323	29,873
合 計		1,142,504	295,504

()は借用



文京町地区



②⑦創立60周年記念会館 コラボ弘大

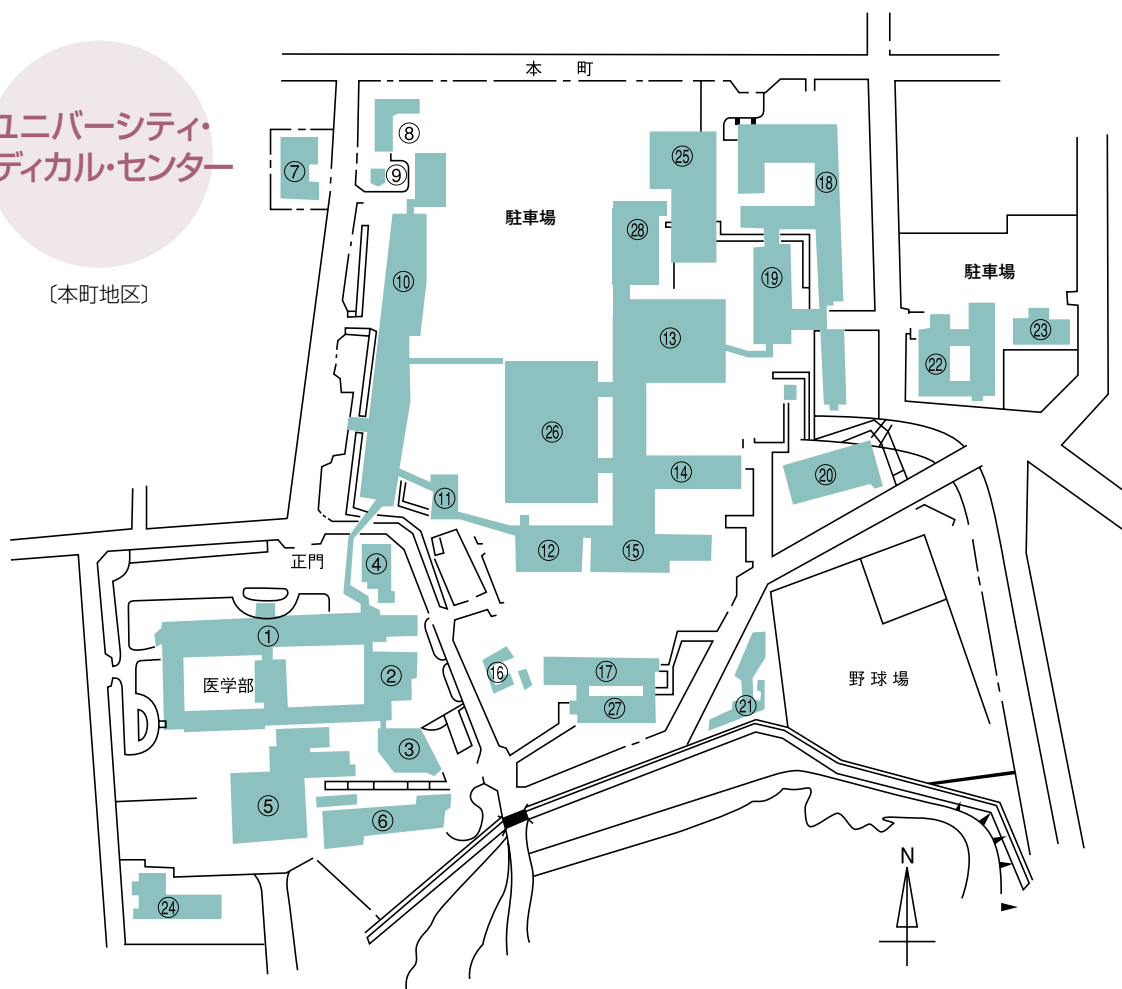


創立60周年記念モニュメント
金工作品「幸せのリング」(宮田亮平東京藝術大学長作)
②⑦創立60周年記念会館コラボ弘大1Fロビー内

① 案内所(守衛所)	②① 弓道場
② 事務局	②② 附属地震火山観測所
③ 旧制弘前高等学校外国人教師館	②③ 総合情報処理センター
④ 倉庫	②④ 理工学部1号館
⑤ 電話交換室	②⑤ 附属遺伝子実験施設
⑥ 変電室	②⑥ コラボレーションセンター
⑦ 自動車車庫	②⑦ 創立60周年記念会館コラボ弘大
⑧ 保健管理センター	②⑧ 理工学部2号館
⑨ 学生相談室	②⑨ 農学生命科学部校舎
⑩ 創立50周年記念会館	③⑩ 水利実験室
⑪ 総合教育棟	③⑪ 温室
⑫ 人文学部校舎	③⑫ 圃場管理棟
⑬ 附属図書館	③⑬ 野外調査準備棟
⑭ 学生食堂	③⑭ 動植物実験管理棟
⑮ 大学会館	③⑮ 温室・網室・ガラス室
⑯ 合宿所及びサークル共用施設	③⑯ 第二体育館
⑰ 教育学部校舎	③⑰ 武道場
⑱ ポンプ室	③⑱ 運動場器具庫
⑲ 危険薬品庫	③⑲ サークル棟
⑳ 附属教育実践総合センター	④① 北溟寮(男子)
㉑ ボイラ室	④② 国際交流会館
㉒ 第一体育館	④③ 職員宿舎

ユニバーシティ・
メディカル・センター

〔本町地区〕



① 医学研究科	⑧ 自動車車庫	⑬ 旧廃液処理施設	⑲ 総合研究棟	②④ 本町地区共同利用施設 (附属高度先進医学研究センター)
② 附属図書館医学部分館	⑨ ポンプ室	⑭ 一般管理棟	⑲ 総合研究棟	②⑤ 立体駐車場
③ 基礎講義棟	⑩ 臨床研究棟	⑮ 保健学研究科	⑲ 総合研究棟	②⑥ 外来診療棟
④ 課外活動用器具庫	⑪ 臨床講義棟	⑯ 総合研究棟	⑲ 総合研究棟	②⑦ ひろだい保育園
⑤ 附属動物実験施設 アイントープ総合実験室	⑫ エネルギーセンター	⑰ 体育館	⑲ 総合研究棟	②⑧ 高度救命救急センター
⑥ 附属脳神経血管病態研究施設	⑬ 中央診療棟	⑱ 医学部会館	⑲ 総合研究棟	
⑦ 医学部コミュニケーションセンター	⑭ 第二病棟	⑲ 看護師宿舎	⑲ 総合研究棟	
	⑮ 第一病棟	⑲ 被ばく医療総合研究所	⑲ 総合研究棟	



②④ 高度救命救急センター



⑭ ⑮ 医学部附属病院第一病棟及び第二病棟



⑦ 医学部コミュニケーションセンター



②⑦ ひろだい保育園

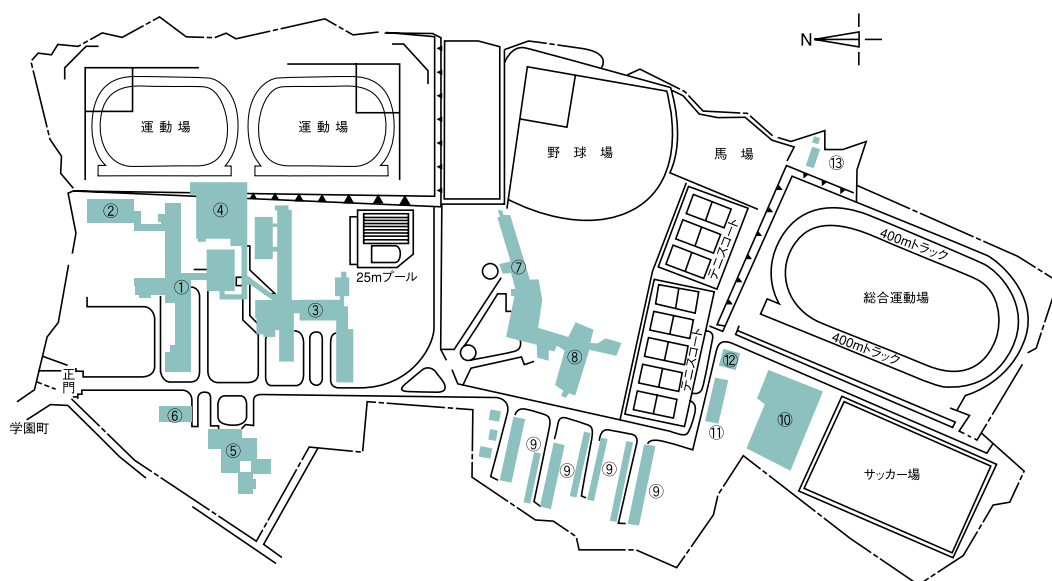
学園町地区



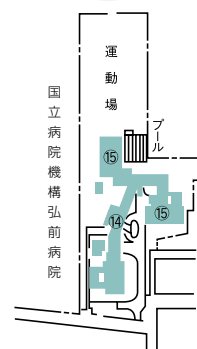
③ 附属小学校



① 附属中学校



富野町地区



① 附属中学校校舎	⑤ 附属幼稚園園舎	⑨ 職員宿舎	⑬ 馬房
② 附属中学校武道場	⑥ ボイラー室	⑩ 屋内プール	⑭ 附属特別支援学校校舎
③ 附属小学校校舎	⑦ 朋寮（女子）	⑪ 体育管理施設	⑮ 附属特別支援学校屋内体育館
④ 附属小・中体育館	⑧ 北鷹寮（男子）	⑫ 合宿所	



⑤ 附属幼稚園

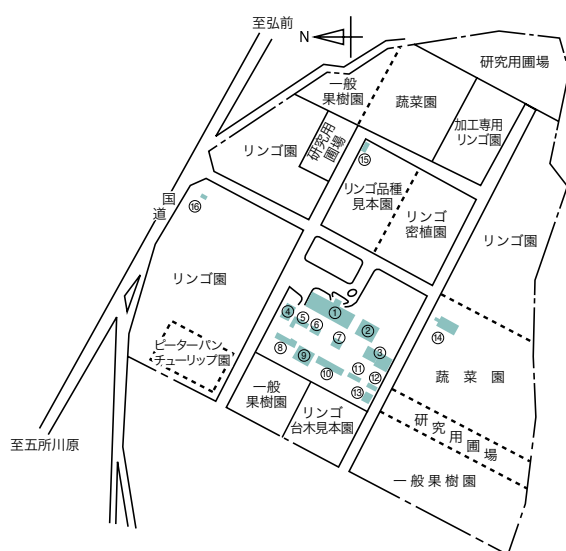


⑭ 附属特別支援学校

農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
藤崎農場・金木農場

藤崎農場

①	管 理 棟
②	加 工 舎
③	リンゴ低温倉庫
④	資 材 庫
⑤	温 室
⑥	油 庫
⑦	農 薬 庫
⑧	小 農 具 舎
⑨	大 農 具 舎
⑩	収 納 調 整 舎
⑪	収 納 舎
⑫	学 生 用 農 具 庫
⑬	肥 料 庫
⑭	果樹根実験施設
⑮	物 置
⑯	ポ ン プ 室



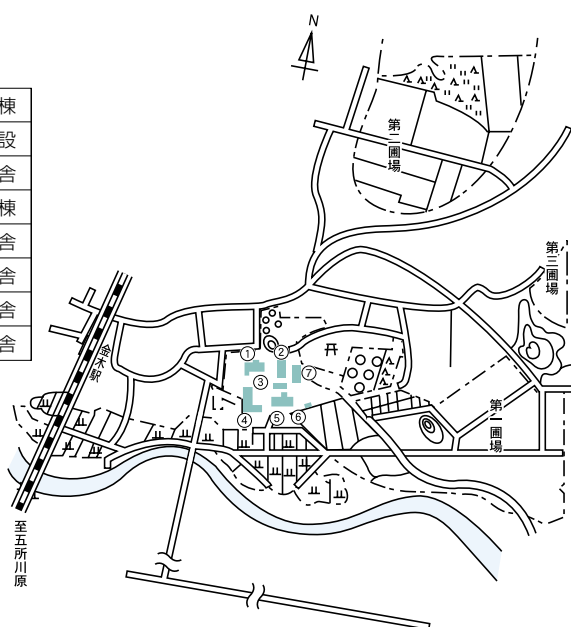
管理棟



ピーターパン・チューリップ園

金木農場

①	管 理 棟
②	宿 泊 施 設
③	多 目 的 舎
④	宿 泊 棟
⑤	農 機 具 舎
⑥	繁 殖 舎
⑦	肥 育 舎
⑧	肥 育 舎

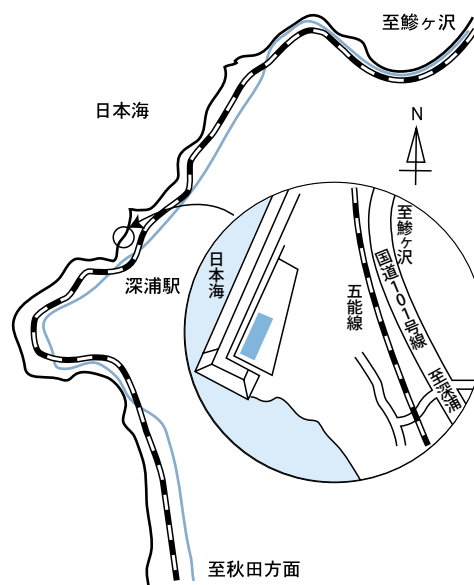


繁殖舎

深浦実験所



深浦実験所



体育施設

平成25年5月1日現在

区 分		所 在 地		構造・階	面積(m²)	備 考
屋 内 施 設	体 育 館	文 京 町		S ₁ ,R ₂	3,394	第一体育館 (S ₁ ・1,828m²) 、 第二体育館 (R ₂ ,S ₁ ・1,566m²)
	体 育 館	本 町		RS ₂	1,457	
	弓 道 場	文 京 町		W ₁	140	柔道場、剣道場、合気道場、空手道場
	武 道 場	文 京 町		R ₁	756	
	水 泳 プ ー ル	学 園 町		S ₁	2,398	
	計					8,145
屋 外 施 設	多 目 的 広 場	文 京 町			12,144	サッカー、ラグビー、アメフト、ソフトボール等の練習
	野 球 場	南 塘 町			9,981	
	総 合 運 動 場	学 園 町			61,484	陸上競技場(400mトラック)、サッカー・アーチェリー場、 テニスコート8面、馬場、馬房、野球場
	計					
合 計					91,754	

学生寮

平成25年5月1日現在

寮 名	構造・階	面積(m ²)	設置年度	収 容 人 員	
				定 員	現 員
北 溟 寮 (男 子)	R ₄	3,281	40	230	137
朋 寮 (女 子)	R ₅	3,498	42	234	187
北 鷹 寮 (男 子)	R ₅	2,874	43	200	65
合 計				664	389



▲学生寮（朋寮）



▲国際交流会館

国際交流会館

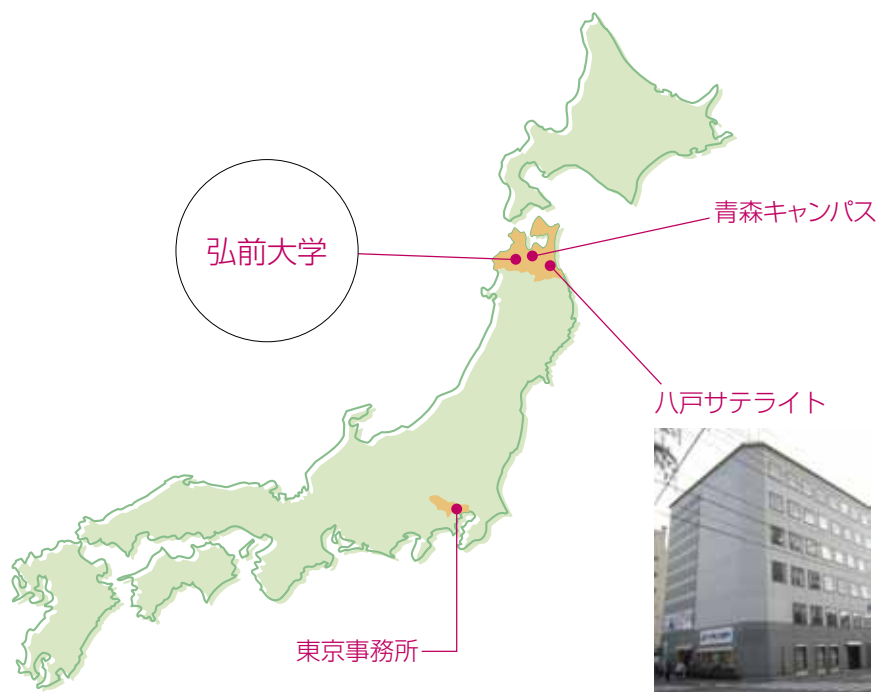
平成25年5月1日現在

区 分	構造・階	面 積 (m ²)	施 設 の 概 要
A 棟	R ₄	982	単身室：31 共用部分：事務室、ラウンジ、ランドリー室
B 棟	R ₃	1,048	夫婦室：11 家族室：7
合 計			2,030

サテライト

弘前大学では、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としてサテライトを設置しています。

主な事業内容は次のとおりです。①産学官連携事業(科学技術相談、共同研究等)、②地域企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング、③公開講座、講演会、遠隔教育等の実施、④広報活動(入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等)



地方自治体等との地域連携協定

弘前大学では、社会連携ポリシーを策定し、これに基づき積極的に社会との連携、地域への貢献を進めることとしており、その一環として、自治体、企業等との連携に関する協定を締結しています。

また、その他にも生涯学習事業、産学官連携による共同研究など、多様な取組を実施しています。

- 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町(平成17年10月6日)
- 東京都江戸川区、江戸川区農業経営者クラブ、江戸川花卉園芸組合(平成18年4月21日)
- 青森県弘前市(平成18年9月19日)
- 青森県(平成18年11月25日)
- 青森銀行(平成19年4月25日)
- 青森県青森市(平成19年5月7日)
- みちのく銀行(平成19年6月25日)
- サンスター株式会社(平成19年8月7日)
- (独)放射線医学総合研究所(平成20年10月2日)
- 青森県中津軽郡西目屋村(平成20年12月22日)
- (地独)青森県産業技術センター(平成21年9月28日)
- 福島県浪江町(平成23年9月29日)
- 弘前商工会議所(平成24年12月6日)



弘前商工会議所(平成24年12月6日)



①	事務局	理工学研究科	⑤ 北 溟 寮（男子）
	人文学部	附属地震火山観測所	⑥ 国際交流会館
	教育学部	地震観測点（三蔵、岩崎、泊）	⑦ 文 京 荘
	附属教育実践総合センター	火山観測所（百沢、浜横沢、梵珠山）	⑧ 医学研究科
	21世紀教育センター	農学生命科学部	附属動物実験施設
	保健管理センター	附属遺伝子実験施設	附属脳神経血管病態研究施設
	教員免許状更新講習支援室	② 総合情報処理センター	アイソトープ総合実験室
	出版会	生涯学習教育研究センター	⑨ 医学部コミュニケーションセンター
	資料館	地域共同研究センター	⑩ 附属病院
	国際教育センター	機器分析センター	⑪ 保健学研究科
	学生就職支援センター	知的財産本部	⑫ 被ばく医療総合研究所
	ボランティアセンター	③ 附属特別支援学校	
	国際連携本部	附属小学校	
	附属図書館	附属中学校	
	総合教育棟	④ 附属幼稚園	
	創立50周年記念会館	北 鷹 寮（男子）	
	旧制弘前高等学校外国人教師館	朋 寮（女子）	





HIROSAKI
UNIVERSITY

編集・発行 弘前大学総務部広報・国際課
郵便番号 036-8560 弘前市文京町1番地

URL <http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

